注3

大学番号:私279

[平成28年度設置]

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



# 広島修道大学 人文学部 教育学科 注2

# 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

# 学校法人修道学園 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 学長室総合企画課

カリハラ シンジ **職名・氏名 課長・栗原 伸治** 

電話番号 082-830-1102

(夜間) 082-830-1102

F A X 082-830-1324

e —mail kikaku@js.shudo-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- ( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合:「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

# 人文学部

<教	文育学科>	^°-	ーシ	<b>)</b>
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	1
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	22
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・	•	•	23
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	25
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・	•	•	63
7	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	•	64

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人修道学園

(2) 大学名

広島修道大学

(3) 大学の位置

〒731-3195 広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

# (4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ハヤシ マサオ) <b>林 正夫</b> (平成12年7月1日)		
学長	(イチカワ タイチ) <b>市川 太一</b> (平成22年4月1日)	(ミカミ タカノリ) <b>三上 貴教</b> (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)
学 部 長	( ミズノ カズホ ) <b>水野 和穂</b> (平成28年4月1日)		
学科長等	(ササオ ショウジ) <b>笹尾 省二</b> (平成28年4月1日)	(マツザキ マサヒロ) <b>松崎 雅広</b> (平成30年4月1日)	任期満了による交代 (平成30年4月1日) (30)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
  - ( )書きで記入してください。
  - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

## (5) 調査対象学部等の名称,定員,入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
  - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
  - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

## (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
人文学部 教育学科 学士(教育学)	教育学·保育学 関係	年 4	100	年次 人 一	400	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
  - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

### (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対	才象年度	平瓦	戈2	7 年度	平成2	8 年度	平成2	9 年度	平成3	0 年度	平均入学定員	備	考
区分		春季	入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	VH	7-5
			人	人	人 10	n 人	人 10	n 人	人 10	n 人			
A 入学	定員	(		)	( -	- )	( -	- )	( -	- )			
		[		]	[ -	- ]	[ -	- ]	[ -	- ]			
					1, 530	_	1, 263	-	989	_			
志願者	数	(	)	( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)			
		[	]	[ ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
					1, 505	_	1, 258	_	982	_			
受験者	数	(	)	( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)	1. 00倍		
		L	J	L J	[ - ]	[ – ]		[ - ]		[ - ]	1.0014		
^ ±6 → ·	264	,			354	_	313	_	334	_			
合格者	釵	(	)	( )	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)			
		L	J	L J	[ - ]	[ - ]	100	[ - ]	100	[ - ]			
┃ B 入学	者数	,	\	, ,	97	_	102	_	103	_			
	日 奴	Г	1	( ) Г 1	(-)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)			
入学定員超 B/A		L	J	L J	0.9	97	1. (	)2	1. (	)3			

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ ( )内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生は記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、 <u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
  - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

# (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 2	7 年度	平成2	8年度	平成2	9 年度	平成3	0 年度	備考
学 年		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	)佣 <b>行</b>
		_	_	97	_	102	_	103	_	※平成29年度2年次
1 :	年次	[ - ]	[ - ]	[ 0 ]	[ - ]	[ 0 ]	[ - ]	[0]	[ - ]	他学部からの転部により 1名増
		(-)	(-)	(0)	(-)	(0)	(-)			1-11-41
				_	_	98	_	102	_	
2	年次			[ - ]	[ - ]	[ 0 ]	[ - ]	[0]	[ - ]	
				(-)	(-)	(0)	(-)	(0)	(-)	
						_	_	98	_	
3 :	年次					[ - ]	[ - ]	[0]	[ - ]	
						(-)	(-)	(0)	(-)	
								_	_	
4 :	年次							[ - ]	[ - ]	
								(-)	(-)	
		-	-	9	7	20	00	30	)3	
	計	[ -	- ]	[ (	) ]	[ (	) ]	[ (	) ]	
		( -	- )	( (	) )	( (	) )	( (	) )	

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

## (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳									
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	主な退学理由							
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人								
亚戊00左连	07. 1	0 1	平成27年度	- 人	- 人								
平成28年度	97 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人								
			平成27年度	- 人	- 人								
平成29年度	200 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	健康上の理由(1名)							
			平成29年度	0 人	0 人								
			平成27年度	- 人	- 人								
平成30年度	303 人	0 1	平成28年度	98 人	0 人								
平成30年度	303 🔨	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	平成29年度	102 人	0 人	
			平成30年度	103 人	0 人								
合 計	600 人	1 人											

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は</u>ありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

#### 【平成27年度】 平成27年度の退学者数(a) 平成27年度の在学者数(b) 【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) 0 % 平成28年度の在学者数(b) 97 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 0.5 % 平成29年度の在学者数(b) 200 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 0 0 % 平成30年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

# 2 授業科目の概要

# <人文学部部 教育学科>

# (1)一① 授業科目表

【認	可	時	又	は	届	出	時
----	---	---	---	---	---	---	---

【 <b>認可時又は届出</b> 授業科目の名称
を学生 日の座 十 一

【平成30年度】

	<b>一成30年度』</b> 授業科目の名称	配当	Ĺ	单位数	ጟ	専	任教	員等	の配	置	*
<b></b>	修大基礎講座	年 次 1 計	必修	選択	自由	教 授 1	准教授	講師	助教	助手	2
全学	修入基礎講座 初年次セミナー	1前 1後		2		6	3 <b>5</b>				2 4
共	情報処理入門I	1前	2	_							4
通科	情報処理入門耳(情報と表現) 情報処理入門耳(情報と分析)	1 - 28 - 9		2							<b>4</b> 5
目目	情報応用(情報セキュリティ)	2・3量		2							4
	大学生活とキャリア形成	2前		2							3
	地域イノベーション論 地域コミュニケーション論	1・2前・後		2							1
	100 項コミューケーション曲 ひろしま未来協創プロジェクト	1 • 2		2							1
	(都心のコミュニケーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のコミュニケーション)	2 · 3 <b>@</b>		2							1
	ン/ ひろしま未来協創プロジェクト (過疎地域のコミュニケーショ			2							1
	ン)	2 - 3		2							'
	ひろしま未来協創プロジェクト (過疎地域のイノベーション)	2 · 3 <b>@</b>		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト	2 - 3		2							1
	(都心のイノベーション)	2.3		_							'
	ひろしま未来協創プロジェクト (中山間地域のイノベーション)	2 · 3mm		2							1
	ひろしま未来協創特講(ファシリ	1 · 2①		1							1
	テーション入門)										
	ひろしま未来協創特講(ワーク ショップ・スキル入門)	1 - 2(2)		1							1
	ひろしま未来協創特講(広島地域 のテーマ発見)	1 - 2③		1							1
	ひろしま未来協創特講(過疎地域										
	のテーマ発見)	1 - 24		1							1
	ひろしま未来協創特講(地域コ ミュニケーションデザイン:ツー ル)	1 - 2(3)		1							1
	ひろしま未来協創特講(発見・デ	1 • 24		1							1
	ザイン・しまなみ)	1 • 2(4)		1							1
	ひろしま未来協創特講(体験から 学ぶ人間関係づくり)	1・2後		1							1
	広島学(歴史・産業)	3前		2							5
	広島学(広島県の経済構造) (衆間談)	3前		2							6
	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広 島・ヒロシマを学ぶ) (衆闘論)	2前		2							4
	広島学(ひろしまの自然環境と景 観)	3前		2							7
留	日本語I	1 - 200		1							3
学	日本語Ⅱ	1 - 200		1							3 3 3 3 3 3 1
教	日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	1 · 200 1 · 200		1							3
育	日本語Ⅴ	1 - 200		1							3
科目	日本語VI 日本語VI	1 - 200		1							3
-	日本語证	1 - 200		1							3
	アカデミック日本語	1・2前		2							
	ビジネス日本語 日本研究(日本の政治)	1・2数 1・2前		2 2							1
	日本研究(日本の民族)	1・2機		2							1
80	日本研究(日本の経済)	1・2後		2							1
<b>留学支援教育科目</b>	留子スタートアップ 音学美麗入門(TOEFL/IELTS)	1 - 28 - 9		2							1
支煙	曹学英語入門 (海外生活 I)	1・2前		2 2 2							1
接着	####A門(####I) 英語圖留学入門	1 • 2後 1 • ## • · · · · · · · · · · · · · · · ·		1							1 2
育	アジア圏留学入門	1 - 20 - 6		1							1
科日	外国語としての日本語 留学フォローアップ	1 - 280 - 40		2							1
-	グローパル特講 I	1前		2							2
	グローバル特講Ⅱ	14		1							1
	グローバル特講Ⅲ グローバル特講班 (未開業)	2前・袋 3・4選		2							1
	海外研修A	1~4		1							
	海外研修B 海外研修C	1~4		2							
	海外研修D	1~4		4							
<u> </u>	海外研修日	1~4		5							
国際	Project(Popular Music in Japanese Society I) Multicultural	1 - 2 <b>①</b>		2							1
際共修科目	Project (Popular Music in	1 - 2@		2							1
修验	Japanese Society II) Multicultural Project(Japanese Gulture	1 - 24		2							1
目目	in Hospitality and Multicultural Project(Images of Japan in	1 - 202		2							1
	Western Cinema) Multicultural	_		_							_
	Project (Contemporary Issues in Japanese 多文化支援プロジェクト(多文化環境)	1 - 2③		2							1
	多文化交換プロジェクト(多文化理解) 多文化交換プロジェクト(地方の能力)	1 - 2前 1 - 2前		2							1
	多文化支援プロジェクト(広島再発見)	1・2後		2 2 2 2							1
	6大名文数プロジェクト(第8版・第8文名を2.5~) 多文化支数プロジェクト(現代の社会)	1 · 2② 1 · 2袋		2							1
				_						1	

	授業科目の名称	配当年本	<u>i</u> 必 修	単位数 選 択	_	_	専授	任教	•	等師	配数	置助手	:
教養	哲学 倫理学	1・2前 1・2前		2									1
科	美学	1・2前		2									1
目	芸術学  日本文学	1 · 2前 1 · 2前		2									1
	西洋文学	1 · 2前 1 · 2前		2 2									1
	日本語学 心理学	1・2前		2									2
	文化論 文化人類学	1 · 2前 1 · 2前		2									1
	日本史	1・2前		2									1
	東洋史  西洋史	1 · 2前 1 · 2前		2									1 2
	地理学	1・2前・後		2									1
	社会学 法学	1·2前 1·2後		2									1
	政治学 経済学	1 · 2前 1 · 2前		2									1
	統計学	1・2前		2									1
	情報社会論 物理学	1·2前 1·2後		2									1
	化学	1・2前・後		2									1
	生物学  環境科学	1・2前・後 1・2前・後		2									1
	数学 教養講義(現代の哲学)	1・2前		2 2									1
	教養講義(西洋の美術)	1・2後		2									1
	教養講義(西洋の音楽) 教養講義(江戸文学)	1·2後 1·2後		2									1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2後		2									1
	教養講義(西洋文化論) <sub>教養講義(アジアの文化と社会)</sub>	1·2後 1·2後		2									1
	教養講義(日本近代史) 教養講義(日本近現代史)	1·2後 1·2後		2 2									1
	教養講義(東洋近世史)			2									1
	教養講義(西欧近代史) 教養講義(西洋中近世史)	1·2後 1·2後		2									1
	教養講義(生活の中の地理学)	1・2後		2									1
	************************************	1·2後 1·2前		2									1
	教養講義(現代経済学)	1・2後		2									1
	教養講義(応用統計学) 教養講義(情報環境論)			2									1
	教養講義(ヒトの生命科学) 教養講義(応用数学)	1·2後 1·2後		2 2									1
	お合教養講義a(近現代の哲学)	1・2後		2									i
	総合教養講義a(近現代の美学) 総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1·2後 1·2後		2									1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前		2									1
	総合教養講義a(江戸時代の化粧・結髪) 総合教養講義a(神仏と芸能)	1·2前 1·2後		2									1
	総合教養講義a(現代日本語の特質) 総合教養講義a(英語と日本語)	1·2後 1·2前		2									1
	総合教養講義a(ことばと社会)	1・2前		2									1
	総合教養講義a(ピアノ講座) 総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2前・映		2									1
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後		2		1							
	総合教養講義a(歴史と社会) 総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	1・2前・映		2									1
	総合教養講義1(日本の社会および経済の文化的基礎) 200 全 数 第 1巻 第 3 (123 47 14 全 し 全 分 14 )	1・2前		2 2									1
	総合教養講義a(現代社会と会計) 総合教養講義a(ペーシック・ファイナンス)	1・2前		2									1
	総合教養講義s(コーポレートファイナンス入門) 総合教養講義s(物く人のための経営学)	1·2後 1·2後		2 2									1
	総合教養講義a(環境経営入門)	1・2前		2									1
	総合教養講義a(現代社会と企業) 総合教養講義a(生活保障論)	1 · 2前 1 · 2前		2									1
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後		2									1
	総合教養講義a(家族と法) 総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1·2後 1·2後		2									1
	総合教養講義s(現代社会と企業法) 総合教養講義s(国際社会と法)	1·2後 1·2前		2 2									1
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2後		2									1
	総合教養講義a(生命の化学) 総合教養講義a(病気の生物学)	1・2後		2									1
	総合教養講義a(大気の環境問題と生態系) 総合教養講義a(大気の環境問題と生態系)	1・2前・後		2									1
	総合教養講義a(生物多様性保全の環境問題) 総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1・2後		2 2									1
	総合教養講義a(自然環境と災害) 総合教養講義b(芸術文化学)	1・2前 2前		2 2									1
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後		2									1
	総合教養講義b(和紙) 総合教養講義b(マスコミ論)	2後 2後		2									1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後		2									1
	総合教養講義b(労働問題と法) 総合教養講義b(国際理解)	2後 2前		2									1
	総合教養講義b(生命情報論) 総合教養コース(世界の言語と文化)	2前		2									1
	総合教養コース(世界の言語と文化) 総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2前		2									1

	授業科目の名称	配 当 年	必	修	単位数 選 択	_	由	_	_	任教		F (	_	置助手	
教	哲学	次 1 · 2 <b>前</b>	æ	199	2	п	н	30	īχ	准软放	in b	Ï	刺羽	刺于	1
養科	倫理学 美学	1・2 <b>美</b> 1・2前			2										1
目	芸術学	1・2前			2										1
	日本文学 西洋文学	1・2前			2										1
	日本語学	1・2 <b>美</b> 1・2前			2										1
	心理学	1 • 2			2										1
	文化論 文化人類学	1・2 <b>前</b> 1・2前			2										<b>2</b> 1
	日本史	1・2前			2										2
	東洋史 西洋史	1 · 2前 1 · 2前			2										1
	地理学	1・2通			2										1
	社会学 法学	1 · 2前 1 · 2前			2										1
	政治学	1 - 22			2										1
	経済学 統計学	1・2 <b>m・0</b> 1・2前			2										<b>3</b> 1
	情報社会論	1 - 20			2										1
	物理学 化学	1・2後			2										1
	生物学	1 - 2			2										i
	環境科学 数学	1・2前・映			2										1
	数子 教養講義(現代の哲学)				2										1
	教養講義(西洋の美術)	1・2 <b>前</b> 1・2後			2 2										1
		1・2後			2										1
	教養講義(ドイツ文学) (未開講)	1・2後			2 2										1
	教養講義(西洋文化論) <sub>教養講義(アジアの文化と社会)</sub>	1・2 <mark>運</mark> 1・2後			2										1
	教養講義(日本近代史)				2										1
	教養講義(日本近現代史) 教養講義(東洋近世史)	1·2後 1·2後			2										1
		1·2後 1·2後			2										1
		1・2後			2										1
	<sub>敬養講義(社会と政治)(未開講)</sub> 教養講義(現代経済学)	1·2前 1·2後			2 2										1
	教養講義(応用統計学)	1・2後			2										1
	教養講義(情報環境論) 教養講義(ヒトの生命科学)				2										1
	教養講義(応用数学)	1・2後			2										1
	総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2後			2										1
	総合教養講義3(西洋美術の図像学)	1 - 2			2										1
	総合教養講義a(浮世絵) 総合教養講義a(江戸時代の代紙・稿製)	1 · 2前 1 · 2前			2										1
	総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2後			2										1
	総合教養講義a(現代日本語の特質) 総合教養講義a(英語と日本語)	1 · 2後 1 · 2機			2										1
	総合教養講義a(ことばと社会)	1 • 2			2										i
	総合教養講義a(ピアノ講座) 総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2前・映			2										1
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後			2			1							'
	総合教養講義a(歴史と社会)	1·2 <b>後</b> 1·2後			2 2										1
	総合数養講義 a (現代日本社会の諸明) (安間講) 総合数養講義 a (日本の社会および程度の文化的基礎)	1・2前			2										1
	総合教養講義 a (ペーシック・ファイナンス)	1・2前			2										1
	応告放発講報 a(ハージラグ・ファイアンス) 総合販売講義 a(コーポレートファイナンス人門)	1・2削			2										1
	総合教養講義a(働く人のための経営学)	1 • 2			2										1
	総合教養講義 a (現代社会と企業)	1 - 2			2										1
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後			2										1
	総合教養講義a(家族と法)	1 - 2			2										1
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法) 総合教養講義a(現代社会と企業法)	1 · 2			2										1
	総合教養講義a(国際社会と法)	1・2前			2										i
	総合教養講義a(情報と社会) 総合教養講義a(生命の化学)	1 · 2後 1 · 2前			2										1
	総合教養講義 a (病気の生物学)	1・2前・後			2										i
	総合教養講義a(大気の環境問題と生態系) 総合教養講義a(生物多様性保全の環境問題)	1・2前・後			2										1
	総合教養講義 a (宇宙と環境科学)	1 - 2 (*)			2										1
	総合教養講義b(芸術文化学)	2前			2										1
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後			2										1
	総合教養講義b(和紙) 総合教養講義b(メディア論)	2後 2前			2										1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後			2										1
	総合教養講義b(労働問題と法) 総合教養講義b(国際理解)	2後 2前			2 2										1
	総合教養講義b(生命情報論) (衆日日)	2前			2							l			1
	総合教養コース(世界の言語と文化) 総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2前			2 2										12 3
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 - 2													•

	授業科目の名称	配 当 年	単位	-	専任教		_					授業科目の名称	配当年	単位数		任教			_	
外	英語文書表現I	次 1 · 2前	必 修 選 折	自由教	授准教授	講師	助教	助手	3		外	英語リスニングI	1前	必 修 選 択	自 由 教 授	准教授	講師	助教目	助 手	3
国	英語文書表現Ⅱ	1・2後	2						3		国	英語リスニングエ	1後	1						3
語科	英語文書表現Ⅲ 英語文書表現Ⅳ	1·2前 1·2後	2 2						1		語科	英語リスニングⅢ 英語リスニングⅣ	1前 1後							2
目	英語法解Ⅰ	1・2前	2						4		目	英語リスニングⅤ	1前	l lil						1
英	英語読解Ⅱ	1・2後	2						4		英	英語リスニングⅥ	1後	i						i
語	英語読解Ⅲ	1・2前	2						1		語	英語リーディングI	1前	1						3
科日	英語読解Ⅳ 英語聴解 I	1·2後 1·2前	2 2						1 3		科目	英語リーディングⅡ 英語リーディングⅢ	1後							3 2
Н	英語聴解 I 英語聴解 II	1・2削	2						3		Н	英語リーディングⅣ	1前 1後	l lil						2
	英語聴解Ⅲ	1・2前	2						1			英語リーディング▼	前前	i						ī
	英語聴解Ⅳ	1・2後	2						1			英語リーディングⅥ	1後	1						1
	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション Ⅱ	1 - 2前	2 2						3			英語ライティング研究Ⅰ 英語ライティング研究Ⅱ	1 - 2前 1 - 2 <b>他</b>	2						2
	英語コミュニケーションII	1·2後 1·2前	2						2			英語ライティング研究Ⅲ	1 - 2数	2 2						2 2
	英語コミュニケーションⅣ	1・2後	2						2			英語ライティング研究Ⅳ	1 - 2機	2						2
	英語語法研究Ⅰ	1・2前	2						2			英語読解研究Ⅰ	1・2前	2						3
	英語語法研究Ⅱ  英語語法研究Ⅲ	1·2後 1·2前	2 2						2			英語読解研究Ⅱ 英語読解研究Ⅲ	1 · 2使 1 · 2前	2 2						3
	英語語法研究Ⅳ	1・2後	2						i			英語読解研究Ⅳ	1 - 2後	2						i۱
	資格英語 I	1・2前	2						4			英語聴解研究I	1・2前	2						2
	資格英語Ⅱ	1・2後	2						4			英語聴解研究Ⅱ	1・2後	2						2
	資格英語Ⅲ ※按苯語Ⅲ	1·2前 1·2後	2						3			英語聴解研究Ⅲ	1 · 2前 1 · 2使	2 2						1
	資格英語Ⅳ <sup>英語プレゼンテーション</sup> Ⅰ	1・2板	2 2						3			英語聴解研究IV ##コミュニケーション研究I	1・2歳	2						1 2
		1・2後	2						1			美器コミュニケーション研究Ⅱ	1・2機	2						2
	アドバンスト英語 (Japanese Film)	2 - 3 - 4前	2						1			英語コミュニケーション研究車 	1 - 2前	2						1
	アドバンスト英語(Cross Cultural Communication)	2 - 3 - 4前	2						1			美麗コミュニケーション研究取 常語話注研究 T	1 · 2数	2						1
	アドバンスト英語(Contract		_									英語語法研究Ⅰ 英語語法研究Ⅱ	1 · 2前 1 · 2後	2 2						2 2
	アドバンスト英語(Contract Bridge and Card Game Culture)	2 - 3 - 4前	2						1			英語語法研究Ⅲ	1・2前	2						1
	アドバンスト英語 (Aspects of	2 - 3 - 4後	2						2			英語語法研究Ⅳ	1・2歳	2						1
	Japanese Language and Society)								1			資格英語研究Ⅰ	1 - 2前	2						6
	アドバンスト英語(Japanese Studies)	2 - 3 - 4後	2						I  -			資格英語研究Ⅱ 資格英語研究Ⅲ	1 · 2數 1 · 2前	2 2						6 2
	アドバンスト英語(Video Gaming from East to West)	2 - 3 - 4後	2						1			資格英語研究Ⅳ	1・2級	2						2
	オンライン英語実習 I	1 - 2前	1						1			資格英語研究V	1 - 2前	2						1
	オンライン英語実習Ⅱ	1・2後	1						1			資格英語研究Ⅵ	1・2後	2						1
	日本語 Ⅵ  日本語 Ⅵ	1·2前 1·2後	1 1						1			美語プレゼンテーション研究 I 美語プレゼンテーション研究 I	1 · 2前 1 · 2數	2 2						1
	口本品以	1 - 21%	'						'			実用英語実習Ⅰ	1 - 2前							il
												実用英語実習Ⅱ	1・2機	i						1
	1 / ハモモ T	124							,			1° 4 w = 5 T	126							
外国	ドイツ語 I  ドイツ語 II	1前 1後							1		外国	ドイツ語 I  ドイツ語 II	1前 1後	1 1						1
語	ドイツ語皿  ドイツ語皿	1前	1						1		語	ドイツ語皿	1前							i
科	ドイツ語Ⅳ	1後	1						1		科	ドイツ語Ⅳ	1後	1						1
目初	フランス語Ⅰ	1前	1				ĺ		1		目如	フランス語Ⅰ	1前	1 1						1
初修	フランス語Ⅱ  フランス語Ⅲ	1後 1前	1 1						1		初修	フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ	1後 1前	1 1						1
外	フランス語Ⅳ	1後	Ιί						i		外	フランス語Ⅳ	1後	l ii						i
国	スペイン語Ⅰ	1前	1						1		玉	スペイン語Ⅰ	1前	1						1
語	スペイン語Ⅱ	1後							1		語	スペイン語Ⅱ	1後	1 1						1
科目	スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ	1前 1後	1 1						1		科目	スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ	1前 1後							1
	中国語Ⅰ	1前	Ιί						i			中国語Ⅰ	1前	lii						3
	中国語Ⅱ	1後	1						1			中国語Ⅱ	1後	1						3
	中国語皿	1前	1 1						1			中国語皿	1前	1 1						3
	中国語Ⅳ 韓国·朝鮮語 I	1後 1前	1 1						1			中国語IV 韓国·朝鮮語 I	1後 1前	1 1						3 4
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1						i			韓国·朝鮮語 I	1後	lii						4
	韓国・朝鮮語Ⅲ	1前	1						1			韓国・朝鮮語Ⅲ	1前	1						4
	韓国・朝鮮語Ⅳ	1後	1						1			韓国・朝鮮語Ⅳ	1後	1						4
	上級外国語 I (中国語) 上級外国語 II (中国語)	2前	2						1			上級外国語 I (ドイツ語) 上級外国語 I (ドイツ語)	2前	2						1
	上級外国語 I (韓国·朝鮮語)	2後 2前	2 2						1			上級外国語 I (フランス語)	2後 2前	2 2						¦
	上級外国語 II (韓国・朝鮮語)	2後	2						1			上銀外国語 I (フランス語)	2後	2						i
	日本語Ⅷ	1・2前	1						1			上銀外国語 I (スペイン語)	2前	2						1
	日本語四	1・2後							1			上級外国語『(スペイン語)	2後	2						1
	日本語区 日本語X	1·2前 1·2後	1 1						1			上級外国語 I (中国語) 上級外国語 II (中国語)	2前 2後	2 2						1
1		2前	2						1			上級外国語 I (中国語) 上級外国語 I (韓国·朝鮮語)	2依 2前	2	1					1
	言語と文化 II (ドイツ)	2後	2				ĺ		1			上級外国語 Ⅱ (韓国・朝鮮語)	2後	2						1
	言語と文化皿(ドイツ)	2前	2				ĺ		1				2前	2						1
	言語と文化Ⅳ(ドイツ) 言語と文化 I (フランス)	2後 2前	2 2				ĺ		1			言語と文化Ⅱ(ドイツ) 言語と文化Ⅲ(ドイツ)	2後 2前	2 2						1
	言語と文化I(フランス) 言語と文化II(フランス)	2削 2後	2				ĺ		1			言語と文化Ⅲ(トイツ) 言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2削 2後	2						¦
	言語と文化皿(フランス)	2前	2				ĺ		1			言語と文化 I (フランス)	2前	2						i
	言語と文化Ⅳ(フランス)	2後	2				ĺ		1			言語と文化 II (フランス)	2後	2						1
	言語と文化 I (スペイン)	2前	2				ĺ		1			言語と文化皿(フランス)	2前	2						1
	言語と文化II(スペイン) 言語と文化II(スペイン)	2後 2前	2 2				ĺ		1			言語と文化Ⅳ(フランス) 言語と文化 I (スペイン)	2後 2前	2 2						1
	言語と文化Ⅲ(スペイン)	2後	2				ĺ		1			言語と文化 I (スペイン)	2削 2後	2						ίl
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前	2						1			言語と文化皿(スペイン)	2前	2						i
	言語と文化Ⅱ(中国)	2後	2				ĺ		1			言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後	2						1
	言語と文化皿(中国)	2前	2				ĺ		1			言語と文化Ⅰ(中国)	2前	2						1
	言語と文化IV(中国) 言語と文化 I (韓国・朝鮮)	2後 2前	2 2				ĺ		1			言語と文化 II (中国) 言語と文化II (中国)	2後 2前	2 2						1
	言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮) 言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2制	2				ĺ		2			言語と文化IV(中国) 言語と文化IV(中国)	2削 2後	2						1
	言語と文化皿(韓国・朝鮮)	2前	2				ĺ		1			言語と文化 I (韓国・朝鮮)	2前	2						2
	言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後	2				ĺ		1			言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2後	2						2
												言語と文化亚(韓国・朝鮮) 言語と文化収(韓国・朝鮮)	2前	2 2						1
I	I	l	1 1	ı I	I	l	ı	i !				言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	∠1友	1   4	ı	1 1		I	1	'

	授業科目の名称	配当年	必 修	单位数 選 択	_				の配助教				授業科目の名称	配当年		単位数 銀 択	-		任教				
10	<b>健康到学</b> 验	- 22	- 12		_ 11	18		100	7/	0	10	,	建库利学验	ж.	_ 19		д			149	70	/	2
保健体育科目	健康科学語論 理動科学学語 理動科学学語 理動科学学語 理動科学学演演習 健康教科学学演演習 健康大ポーツ実習(サッカー) 程度スポーツ実習(サッカー) 健康スポーツ実習(サッカー) 健康スポーツ実習(サッカー) 健康スポーツ実習(サッカー) 健康スポーツ実習(サッカー) 健康スポーツ実習(ロースースポーツ) 健康スポーツ実習(ロースースポーツ) 関東スポーツ実習(ロースースポーツ) 関東スポーツ実習(ロースースポーツ) 関東スポーツ実習(ロースースポーツ) 関東スポーツ実習(ロースースポーツ) 関東スポーツ実習(ロースースポーツ) 関東スポーツ実習(ロースースポーツ) 関東スポーツ実習(ロースースポーツ) 関東スポーツ実習(ロースースポーツ) 建動カスポーツ実習(サッカー) 運動カスポーツ実習(サッカー) 運動カスポーツ実習(サッカー) 運動カスポーツ実習(アウェースー) 運動カスポーツ実習(アウェースー) 運動カスポーツ実習(アウェースー) 運動カスポーツ実習(アウェースー) 運動カスポーツ実習(アウェースー) 運動カスポーツ実習(アウェースー) 建動カスポーツ実習(アウェースー) 対象では「ドキュースー) 野外運動実習 I(スキー人業) 野外運動実習 I(スキー人業) アルチンの 東京では「アースースーター アルチンの アル	1 · 2 後前 1 · 2 前 1 · 2 前 1 · 2 前 1 · 2 前 2 後 1 · 2 1 前 2 2 後 2 2 後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1 1 1 1	1 2 1			2 1 1 1 3 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 1 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 1 2 1 2 2 1 2 1 2 2 1 2 1 2 2 2 2 1 2 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 1 2	保健体育科目	2.4.5.7.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6.6	建康科学論 運動和学演習 国家科学演習 国家科学演習 国家和学学演習 国家和学学演習 国家和学学演習 国家和学学演習 国家和学学演習 国家和学学演習 国家和学学演習 (アロピクス) 国家和一ツ実習(アロピクス) 国家和一ツ実習(アンドパーポール) 国家和一ツ実習(アンドパーポール) 国家和一ツ実習(アロボール) 国際のスポーツ実習(アロボール) 国際のスポーツ実習(アロボール) 国際のスポーツ実習(アロボール) 国際のスポーツ実習(アロボール) 国際のスポーツ実習(アロボール) 国際のスポーツ実習(アロボール) 国際のスポーツ実習(アロボール) 国際のスポーツ実習(アロボール) 国際のスポーツ要認(アロボール) 国際のスポーツ要認(アロボール) 国際のスポーツ要認(アロボール) 国際のスポーツ要認(アロボール) 国際のスポーツ要認(アロボール) 国際のスポーツ要認(アロボール) 国際の表別 アルコの表別 ア	1 · 2 使 1 · 2 有 · 读 1 · 2 有 · 读 1 · 2 有 · 读 1 · 2 有 · 读		2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1	2				3 1 1 1 2 1 1 2 2 3 1 1 1 1 1 2 1 2 1 2
_	差別問題論 日本文化史I 日本文化史I 日本文化記 Hedia English I Business English I Business English I 憲法 I 憲法 I 表オリスを目的報酬を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現してディーションプ	1	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1				1 1 1 1 1 4 4 3 3 2 2 2 1 1 5 5	人文学部総合科目	え E E M M B B 景質 E E A A A A A A B B	差別問題論 日本文化史 I 日本文化史 I ledia English I ledia English I usiness English I 憲法 I 憲法 I  表法 I  (	1	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1					1 1 1 3 3 3 3 2 2 2 1 1 1 1 5 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
専攻科目 演習科目群	教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教教	1前前後前後前後 30 44 44 4 4	2 2 2 2 2 2 2 2 4			5 8 8 8 8 8	3 2 2 2 2 2 2 2 2			4 4 4 4 4 4 4	専攻科目 演習科目群	**************************************	数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	1前2 2 3 3 4 4 4 4 4	2 2 2 2 2 2 2 2 4			6 6 6 7 7 6 6	6 4 4 4 2 2 2				4 3 3 3 4 4 4
専攻科目 専攻科目A群	教教人教教教教教生生社社中初幼特重 育育権育育育育護涯会会等等児別検 原制教哲社文史政学学教教教理支・ 理度育学会化 策習習育育育育育育育育育育育育育育育育育科 理度育学会化 策習習育育育育援選 論論 学史 論論論計計方方の教障 国法法方概概 版表	1 1 (2 2 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3	2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1	専攻科目 専攻科目 A 群	*************************************	寺別支援教育概論	1 前後後 2 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 · 3 ·	2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1	1 1 1				1 1 1 1
専攻科目 専攻科目 B群	教育学特論 I (教職教養研究) 裁育学特論 I (物職教養研究) 裁育学特論 I (物等・最料内容研究) 裁育学特論 I (地界・最料内容研究) 裁育学特論 II (地界 英技指導研究) 教育学特論 II (地元 起指導法) 教育学特論 II (参加 表現) 教育学特論 II (参加 表現)	3前後後後後 3後後後 2・3後 2・3前 2・3前 2・3前 2・3前 2・3前		2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1		1 1	1 2 1 1 1			2 1 2 1 1 1 1	<b>東攻科目 専攻科目 B群</b>	枚 枚 枚 数 数 数 数 数 枚 枚	文育学特論 I (教職教養研究) 清学特論 I (物職教養研究) 清学特論 I (物等・核科内容研究) 清学特論 II (中等・核科内容研究) 清学特論 II (中等・核科内容研究) 育学特論 II (小学・核科内容研究) (育学特論 II (公子・核科内容研究) (育学特論 II (参加・表現) (育学特論 II (公子・	2·3前 2·3後		2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1		1 2 4 1	2 2 2 4 1 1				1 1 1 1 1

	授業科目の名称	配 当 年	単位数	<b>数</b> 自 由	専 教 授			の配助教				授業科目の名称	配 当 年	必修	単位数 選 択		_		員等 講師	の配助数	
	社会教育演習	2 · 3     +	2		1							社会教育演習	2 · 3 **		2		1				
	社会教育実習 <sup>学校教育インターンシップ</sup>	3通 2·3通	2 2		1	1				3		社会教育実習 <sup>学校教育インターンシップ</sup>	3通 2·3通		2		1	1			3
専攻	教職入門 教育心理学 Ⅱ	1前 2·3後	2 2							1	教職	教職入門 中等社会等後等は3(会員分野)	1前3後		2 2						1
科	教育心垤于Ⅱ 中等社会科教育法 I	3前	2							1	専	中等社会科教育企業實際(地理歷史分野)	3後		2						i
目	中等社会科教育法 II 社会科·地理歷史科教育法	3後	2							1	門	社会科・地理歴史科教育法B	3前		2						1
教	社会科・心民科教育法	3前 3前	2 2							1	A   目	中等教育実習事前事後指導	3前 3·4通		<b>2</b> 1						1
職	中等道徳教育論	2後	2							1	群	中等教育実習Ⅰ	3 · 4通		2						1
専門	中等特別活動論 中等生徒指導論	2後 2前	2 2							1		中等教育実習 Ⅱ 日本史概論 I	4通 1前		2						1
科	中等教育相談	2後	2							1		日本史概論Ⅱ	1・2後		2						1
目群	中等教育実習事前事後指導 中等教育実習 I	3 - 4通3 - 4通	1 2							2		東洋史概論 I 東洋史概論 Ⅱ	1前 1·2後		2						2 1
	中等教育実習Ⅱ	4通	2							1		西洋史概論 I	1前		2						1
	日本史概論 I  日本史概論 II	1前 1·2後	2 2							1		西洋史概論 Ⅱ 人文地理学 I	1·2後 2·3前		2						1
	東洋史概論I	1前	2							1		人文地理学Ⅱ	2・3後		2						1
	東洋史概論 Ⅱ 西洋史概論 Ⅰ	1·2後 1前	2 2							1		自然地理学 地誌 I	2·3前 2·3前		2						1
	西洋史概論Ⅱ	1・2後	2							1		地誌Ⅱ	2・3後		2						1
	人文地理学 I 人文地理学 II	2·3前 2·3後	2 2							1		人間観の思想 哲学概論 I	2·3後 1前		2						1
	自然地理学	2・3前	2							1		哲学概論Ⅱ	1・2後		2						1
	地誌 I 地誌 Ⅱ	2·3前 2·3後	2 2							1		倫理学概論 I 倫理学概論 Ⅱ	1前 1·2後		2						1
	人間観の思想	1・2後	2		1							法律学概論	1・2後		2						4
	哲学概論 I 哲学概論 Ⅱ	1前 1·2後	2 2							1		政治学概論 国際法	2·3① 2·3後		2						1
	倫理学概論 I	1前	2							1		国際政治学	2 - 33		2						1
	倫理学概論 Ⅱ  法律学概論	1·2後 1·2後	2 2							1		国際日本学 現代経済入門 I	2·3 <b>4</b> 1前		2						3
	政治学概論	2・3前	2							1		現代経済入門Ⅱ	1後		2						3
	国際法 国際政治学 I	2·3後 2·3前	4 2							1		被職実践置曹(幼・小・中・高) 初等教育実習事前事後指導(小)	<b>4後</b> 3通		<b>2</b> 1		<b>2</b> 1	1			<b>2</b> 1
	国際政治学Ⅱ	2・3後	2							1		初等教育実習事前事後指導(幼)	3 - 4 📜		1			1			1
	現代経済入門 I 現代経済入門 Ⅱ	1前 1後	2 2							1		初等教育実習Ⅰ 初等教育実習Ⅱ	3 iii		2		1				1
	教職実践演習(中・高)	4後	2							5		初等教育実習Ⅲ	3 - 4 📜		2						1
	教職実践演習(幼・小) 初等教育実習事前事後指導(小)	4後 3後	2		2	1				1		<b>教育心理学</b> 生活科教育法	2·3m 3前		<b>2</b> 2		1				1
	初等教育実習事前事後指導(幼)	3・4後	1		l '	1				1		音楽科教育法	3前		2		l .	1			
	初等教育実習 I 初等教育実習 Ⅱ	3後 3後	2 2		1					1		図画工作科教育法 体育科教育法	3前 3前		2		1	1			
	初等教育実習Ⅲ	3 · 4後	2							1		家庭科教育法	3前		2			١.			1
	教育心理学 I 生活科教育法	2·3前 3前	2 2		1					1		国語科教育法 初等社会科教育法	2·3前 2·3前		2			1			1
	音楽科教育法	3前	2			1						算数科教育法	2・3前		2		1				
	図画工作科教育法 体育科教育法	3前 3前	2 2		1	1						理科教育法 初等英語教育論	2·3後 2·3 <mark>使</mark>		2						1 1
	家庭科教育法	3前	2							1		道徳教育論	2 - 3前		2						1
	国語科教育法 初等社会科教育法	2·3前 2·3前	2 2			1				1		教育相談 生徒・進路指導	2 - 3前 2 - 3後		2						1
	算数科教育法	2・3前	2		1							特別活動論	2・3前		2						1
	理科教育法 初等英語教育論	2·3後 2·3前	2 2							1		初等教育(国語) 書写	1後 1前		2			1			1
	初等道徳教育論	2・3前	2							1		初等教育(社会)	1後		2						1
	初等教育相談 初等生徒指導論	2 · 3前 2 · 3前	2 2							1		初等教育(算数)初等教育(理科)	1後 2·3前		2		1				1
	初等特別活動論	2・3前	2							1		初等教育(生活)	2・3後		2		1				
	初等教育(国語) 書写	1後 1前	2			1				1		初等教育(体育)初等教育(音楽)	2·3後 2·3後		2		1	1			
	初等教育(社会) 初等教育(算数)	1後	2 2		1					1		初等教育(図画工作)初等教育(家庭)	2·3後 2·3後		2			1			1
	初等教育(昇致)	1後 2·3前	2							1		例等教育(家庭) 保育原理	2·3後 2·3前		2		1				Ι'
	初等教育(生活)	2·3後 2·3後	2 2		1							保育者論 児童家庭福祉論	1前 3前		2						1
	初等教育(体育)	2·3後 2·3後	2			1						社会福祉論	ろ削 2・3後		2		1				Ι'
	初等教育(図画工作) 初等教育(家庭)	2·3後 2·3後	2 2			1				1		相談援助演習 社会的養護論	3後 3後		2						1
	保育原理	2・3前	2		1							幼児発達心理学	<b>3伎</b> 2・3前		2						1
	保育者論 児童家庭福祉論	1前 3前	2 2							1		幼児心理学演習 子どもの保健 I	3前 2·3前		2			1			1
	社会福祉論	2・3後	2		1							子どもの保健Ⅱ	3前		2			1			
	相談援助演習 社会的養護論	3後 3後	2 2							1		子どもの保健演習 子どもの食と栄養	3前 3前		2						1
	幼児発達心理学	2・3前	2							1		家庭支援論	3後		2						1
	幼児心理学演習 子どもの保健 I	3前 2·3前	2 2			1				1		保育課程論 保育内容総論	3前 2·3後		2		1				1
	子どもの保健Ⅱ	3前	2			'				1		保育内容(言葉)	3前		2		l '	1			
	子どもの保健演習 子どもの食と栄養	3前 3前	2 2							1		保育内容(健康) 保育内容(人間関係)	3前 2·3後		2		1	1			
	家庭支援論	3後	2							1		保育内容(環境)	2・3前		2		1				
	保育課程論 保育内容総論	3前 2·3後	2 2		1					1		保育内容(音楽的表現) 保育内容(造形的表現)	3前 2·3後		2			1			
	保育内容 (言葉)	3前	2			1						保育内容 (身体的表現)	3前		2			1			
	保育内容(健康) 保育内容(人間関係)	3前 2·3後	2 2			1				1		乳児保育演習 障害児保育演習	2·3後 2·3前		2			1			1
	保育内容(環境)	2・3前	2		1					Ι΄		社会的養護内容	3後		2			'			1
	保育内容(音楽的表現) 保育内容(造形的表現)	3後 2·3後	2			1						保育相談支援	2·3後 2·3前		2			1			1 2
I	体月171台(足形的农現)	∠・3後	2	I	I	1	l	I	ı		ı I	音楽表現技術 I	2・3前	I	2	l	ı		I	1	

	授業科目の名称	E :	単位数	Į	専	任教	員等	の配	置		1		授業科目の名称	記当	單	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	:
		当 年 次	必 修選 択	自由	教 授	准教授	講師	助教	助手					当 年 次	必修	選択	自由	教 授	准教授	講師	助教	助手	
	保育内容(身体的表現)	3後	2			1							音楽表現技術Ⅱ	2・3後		2			1				2
	乳児保育演習	2・3後	2							1			図画工作表現技術	2・3前		2		١,	1				
	障害児保育演習 社会的養護内容	2・3前	2			1							体育表現技術	2・3前		2		1					
	保育相談支援	3後 2·3後	2 2							1			保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設)	3通3通		2		1	1				
	休月怕談又版  音楽表現技術	2・3版	2			1				ľ			保育実習 I (保育所)	3・4通		2		1	! !				
	音楽表現技術Ⅱ	2・3後	2			i				Ιi			保育実習皿(施設)	3・4通		2		l '	1				
	図画工作表現技術	2・3前	2			1							保育実習指導 I (保育所・施設)	31		2		1	Ιi				
	体育表現技術	2・3前	2		1	•							保育実習指導 I (保育所)	3 - 4前		2		Ιi	l '				
	保育実習 I (保育所)	3通	2		1								保育実習指導皿 (施設)	3 - 4前		2			1				
	保育実習I(施設)	3通	2			1							保育実践演習	4後		2		1					1
	保育実習Ⅱ (保育所)	3 - 4通	2		1								知的障害者の心理・生理・病理	2・3後		2			2				1
	保育実習皿 (施設)	3 - 4通	2			1							肢体不自由者の心理・生理・病理	2・3後		2			2				1
	保育実習指導 I (保育所・施設)	3前	2		1	1							病弱者の心理・生理・病理	3前		2							3
	保育実習指導Ⅱ (保育所)	4前	2		1								知的障害教育学	2 - 3		2							l !
	保育実習指導皿 (施設)	4前	2			1							知的障害指導法 <sub>肢体不自由の教育と指導</sub>	2·3後		2			١,				'
	保育実践演習 <sup>知的障害者の心理・生理・病理</sup>	4後 2·3後	2 2		1	2				1			病弱の教育と指導	3前		2			1				1
	放体不自由者の心理・生理・病理 技体不自由者の心理・生理・病理	2・3後	2			2				1			病羽の教育と指導 特別支援教育課程論	3後 2·3後		2		1					l '
	病弱者の心理・生理・病理	3前	2			2				3			視覚障害概論	3後		2		l '					1
	知的障害教育学	2 · 3前	2			1				Ů			聴覚障害概論	3後		2							Ιi
	知的障害指導法	2・3後	2			i							キ別支援教育実習事前事後指導	4通		ī		1	1				l '
	肢体不自由の教育と指導	3前	2			1							特別支援教育実習	4通		2			1				
	病弱の教育と指導	3後	2							1													
	特別支援教育課程論	2・3後	2		1																		
	視覚障害概論	3後	2							1													
	聴覚障害概論	3後	2							1													
	特別支援教育実習事前事後指導	4通	1		1	1																	
	特別支援教育実習	4通	2			1																	
関	心理学概論 I	1・2前	2							1		関	心理学概論 I	1・2前		2							1
連	心理学概論Ⅱ	1・2後	2							Ιi		連	心理学概論Ⅱ	1・2後		2							Ιi
学	ヒロシマ文化論I	1・2前	2							i		学	ヒロシマ文化論 I	1 - 2前		2							l i
科	ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後	2							1		科	ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後		2							i
科	社会心理学	1・2後	2							1		目	社会・集団・家族心理学	1 - 2(2)		2							1
目	認知心理学	1・2後	2							1			知覚・認知心理学	1 - 22		2							1
	発達心理学	1 - 2前	2							1			発達心理学 (未開講)	1 - 23		2							1
	臨床心理学	1 - 2前	2							1			臨床心理学振論(未開講)	1 - 2前		2							1
	知覚心理学	1・2前	2							1			知覚心理学	1 - 23		2							1
	生理心理学	1・2後	2							1			神経・生理心理学	1 - 2		2							
	パーソナリティ心理学 心理療法	2・3前	2 2							1			感情・人格心理学 心理療法論	1 - 2		2 2							
	健康心理学	1 - 2前	2							1			心理療法論 健康・医療心理学	2 · 3② 1 • 2①		2							
	メディア論 I	1 - 2前	2							Ιi			メディア論 I	1 - 2前		2							Ιi
	メディア論Ⅱ	1・2後	2							i			ノディア論 I	1 - 2後		2							Ιi
	ジャーナリズム論 I	1・2前	2							1			ジャーナリズム論 I	1・2前		2							1
	ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後	2					l		1			ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後		2			1	l			1
	比較社会論	1・2前	2					l		1			比較社会論	1・2前		2			1	l			1
	共生社会論	1・2後	2					l		1			共生社会論	1・2後		2			1	l			1
	現代社会論A	2・3前	2					l		1			現代社会論A (未開講)	2・3前		2			1	l			1
	現代社会論B	2・3後	2							1			現代社会論B (未開講)	2・3後		2							1
	社会意識論A	2・3前	2					l		1			社会意識論A(未開購)	2・3前		2			1	l			  -
	社会意識論B	2·3後 2·3前	2 2					l		1			社会意識論B (未開購)	2·3後 2·3前		2			1	l			1
	文化社会学A 文化社会学B	2·3前 2·3後	2					l		1			文化社会学A (未開講) 文化社会学B (未開講)	2·3前 2·3後		2			1	l			
		2・3後	2					l		1			义化 在 芸 子 B (木 附 解 ) 親密性の社会学 (未開業)	2・3仮		2			1	l			
		2・3後	2					l		i			表象文化論(未開講)	2・3後		2			1	l			i
	コミュニケーション論A		2							i			コミュニケーション論A (衆間線)	2・3前		2							1
	コミュニケーション論B		2							1			コミュニケーション論B (衆国際)	2・3後		2							1
	サブカルチャー論A		2					l		1			サブカルチャー論A			2			1	l			1
	サブカルチャー論B		2					l		1			サブカルチャー論B			2			1	l			1
	国際社会学A	2・3前	2					l		1			国際社会学A	2・3前		2			1	l			1
	国際社会学B	2・3後	2					l		1			国際社会学B	2・3後		2			1	l			1
	社会安全政策論	1 - 2前	2					l		1			社会安全政策論	1・2前		2			1	l			2
4	公共政策論	1・2後	2							5			公共政策論	1・2後		2							4

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
  その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

  - 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
  - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

[ 2	『成28年度』							i	_
	授業科目の名称	配当年	必修		事 教 授	員等	置助 手		
全学共通科目		# 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1		<u>  位     2   2   2   2   2   2   2   2   </u>		<b>員</b> # 等 # F			

【平成29年度】

[ ]	<u> F成29年度】</u>										
	授業科目の名称	市际混	<u>È</u> 必 修	单位数		専 表 投	任教			置助手	-
全	修大基礎講座	* 1前	10 Ns	選 択	自由	2	3	講師	助教	刺于	1
学	初年次セミナー	1後		2		8	2				
共	情報処理入門I	1前	2								3 2 4
通科	情報処理入門II (情報と表現) 情報処理入門II (情報と分析)	1 - 2 <b>0</b> - 0		2							5
目				_							٠
	大学生活とキャリア形成	2前		2							3
	地域イノベーション論 地域コミュニケーション論	1 - 2前 - 後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト(都心										-
	のコミュニケーション)	2 - 3 (		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト(中山 間地域のコミュニケーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト(過疎										
	地域のコミュニケーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト(過疎 地域のイノベーション)	2・3前		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト(都心										
	のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創プロジェクト(中山 間地域のイノベーション)	2・3後		2							1
	ひろしま未来協創特講(ファシリテー ション入門)	1 - 21		1							1
	ひろしま未来協創特請(ワークショップ・スキル 3 円)	1 · 22		1							1
	ブ・スキル入門)										
	ひろしま未来協創特請(広島地域の テーマ発見)	1 - 23		1							1
	ひろしま未来協創特講(過疎地域の	1 - 24		1							1
	テーマ発見)	1 • 2		l '							'
	ひろしま未来協創特請 (地域コミュニ ケーションデザイン:ツール)	1 - 23		1							1
	ひろしま未来協創特請(発見・デザイ	1 - 24		1							1
	ン・しまなみ)	1 • 2(4)		'							'
	71. ストナ中京位創結隊(体験れこ学ご										
	ひろしま未来協創特講(体験から学ぶ 人間関係づくり) (未 <mark>開業)</mark>	1・2後		1							1
	広島学(歴史・産業)	3前		2							5
	広島学(広島県の経済構造)	3前		2							6
	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ ヒロシマを学ぶ) (衆闘(())	2前		2							4
	広島学(ひろしまの自然環境と景観)	3前		2							7
当	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	1 - 200		1							3
学生教	日本語皿	1 - 200		i							3
教	日本語▼	1 - 200		1							3333333
科	日本語 Ⅵ  日本語 Ⅵ	1 - 2000		1							3
冒	日本語位	1 - 200		i							3
	日本語Ⅷ	1 - 200		1							3
	アカデミック日本語 ビジネス日本語	1・2前		2							1
	日本研究(日本の政治)	1 · 2數 1 · 2前		2							ł
	日本研究(日本の民族)	1・2機		2							1
jitri	日本研究(日本の経済) 留学スタートアップ	1・2後	_	2							1
留学支援教育科	留字スタートアップ 音学英語入門(TOEFL/IELTS)	1 - 200 - 00		1 2							1
支	英語圈留学入門	1 - 28 - 10		1							2
援	アジア圏留学入門	1 - 20 - 0		1							
教音	外国語としての日本語 留学フォローアップ	1 - 20 - 0		2							1
科	グローパル特講 I	1前		2							-1
Ħ	グローバル特講Ⅱ	14		1							1
	グローバル特講Ⅲ グローバル特講Ⅳ	2第一条		2							1
	海外研修A	1~4		1							
	海外研修B	1~4		2							
	海外研修 C 海外研修 D	1~4 1~4		3							
	海外研修日	1~4		5							
国	Hulticultural Project(Popular Husic in Japanese Society I)	1 - 2①		2							1
際共	Multicultural Project(Popular										
共修	Husio in Japanese Society II)	1 - 22		2							1
科目	Hulticultural Project(Japanese Gulture in Hospitality and	1 - 24		2							1
#	Service) Multicultural Project(Images										
	of Japan in Western Cinema)	1 • 22		2							1
	Multicultural Project(Comtemporary Issues In	1 - 2(3)		2							1
	Japanese Society) 多文化支援プロジェクト(多文化理解)	1・2前		2							1
•	1			-	1				•		•

	授業科目の名称	配当年	ě	<u>È</u>	単位数	_	-	<b>專</b>	任教	員等		置助手	:
		次	Ø	fk	進択	В	由	教 授	准教授	376 日中	助教	助手	
教	哲学	1 - 2			2								1
養	倫理学	1・2前			2								1
科目	美学 芸術学	1・2前			2								1 2
н	日本文学	1・2前			2								1
	西洋文学	1・2前			2								Ιi
	日本語学	1・2前			2								1
	心理学	1・2前			2								2
	文化論	1・2前			2								1
	文化人類学	1・2前			2								1
	日本史	1・2前			2								2
	東洋史 西洋史	1・2前			2								1
	地理学	1 - 2			2								2
	社会学	1・2前			2								1
	法学	1・2後			2								1
	政治学	1・2前			2								1
	経済学	1・2前			2								1
	統計学	1・2前			2								1
	情報社会論 物理学	1・2前			2								1
	化学	1・2前・後			2								1
	生物学	1・2前・後			2								Ιi
	環境科学	1・2前・後			2								1
	数学	1・2前			2								1
	教養講義(現代の哲学)	1・2後			2						ĺ		1
	教養講義(西洋の美術)	1・2後			2						l		1
	教養講義(西洋の音楽)	1・2後			2						ĺ		1
	教養講義(江戸文学)(未開業) 教養講義(ドイツ文学)	1・2後			2						ĺ		1
	秋 茂 四 秋 ( 1 1 ) 人 丁 / 秋 表 講義 (西洋文化論) (未開課)	1・2後			2								Ιί
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2後			2								i
	教養講義(日本近代史)	1・2後			2								1
	教養講義(日本近現代史)	1・2後			2								1
	教養講義(東洋近世史)	1・2後			2								1
	教養講義(西欧近代史)	1・2後			2								1
	教養講義(西洋中近世史) 教養講義(生活の中の地理学)	1・2後			2								1
	秋 愛講 教 (エ 心 の 中 の 地 連 子) 教養講義(社会学のものの見方と考え方)	1・2後			2								1
	教養講義(社会と政治)	1・2前			2								Ιi
	教養講義(現代経済学)	1・2後			2								1
	教養講義(応用統計学)	1・2後			2								1
	教養講義(情報環境論)	1・2後			2								1
	教養講義(ヒトの生命科学)	1・2後			2								1
	教養講義(応用数学)	1・2後			2								1
	総合教養講義a(近現代の哲学) (衆 <b>國際</b> )	1・2後			2								1
	総合教養講義a(近現代の美学) (衆 <b>国館)</b> 総合教養講義a(西洋美術の図像学)	1・2後			2								1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前			2								Ιi
	総合教養講義a(江戸時代の化粧・結髪)	1・2前			2								1
	総合教養講義 (神仏と芸能) (衆間間)	1・2後			2								1
	総合教養講義a(現代日本語の特質)	1・2後			2								1
	総合教養講義a(英語と日本語)	1・2前			2								1
	総合教養講義の(ことばと社会)	1・2後			2								1
	総合教養講義a(ピアノ講座) 総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2前・映			2								1
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後			2			1			ĺ		'
	総合教養講義 a (歴史と社会)	1 - 2前 - 後			2			'			ĺ		1
	総合教養講義a(現代日本社会の諸相)	1・2後			2						ĺ		i
	総合数養講義3(日本の社会および経済の文化的基礎)	1・2前			2						ĺ		1
	総合教養講義 a (現代社会と会計) (衆 <b>國際)</b>	1 - 2前 - 後			2						ĺ		1
	総合教養講義a(ペーシック・ファイナンス)	1・2前			2						ĺ		1
	取合教養講義 (コーポレートファイナンス入門)	1・2後			2						l		1
	総合教養講義a(働く人のための経営学) 総合教養講義a(環境経営入門)	1 - 2   1			2						ĺ		1
	総合教養講義a(環境経営人門) 総合教養講義a(現代社会と企業)	1・2前			2						ĺ		1
	総合教養講義a(生活保障論)	1 • 2			2						ĺ		i
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後			2						ĺ		i
	総合教養講義a(家族と法)	1 - 2			2						ĺ		1
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1・2後			2						ĺ		1
	総合教養講義3(現代社会と企業法)	1・2後			2						l		1
	総合教養講義a(国際社会と法) 総合教養講義a(連盟し社会)	1・2前			2						ĺ		1
	総合教養講義 a (情報と社会)	1・2後			2						ĺ		1
	総合教養講義a(生命の化学) 総合教養講義a(病気の生物学)	1・2前・後			2						ĺ		1
	総合 製 変 講 義 8 (病 気 の 生 初 子) 総合教養講義 (大気の環境問題と生態系)	1・2前・後			2						ĺ		1
	総合教養講義2(生物多様性保全の環境問題)	1.70.0			2						ĺ		i
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1 - 2 個 - 後			2						ĺ		i
	総合教養講義a(自然環境と災害)	1・2前			2						ĺ		1
	総合教養講義b(芸術文化学)	2前			2						ĺ		1
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後			2						ĺ		1
	総合教養講義b(和紙)	2後			2						ĺ		1
	総合教養講義b(マスコミ論)	2後			2						ĺ		1
	総合教養講義b(社会保障論) 総合教養講義b(労働問題と法)	2後			2						ĺ		1
	総合教養講義b(労働問題と法) 総合教養講義b(国際理解)	2後 2前			2						ĺ		1
	総合教養講義b(生命情報論)	2前			2						ĺ		1
	総合教養コース(世界の言語と文化)	2 月·1 1 · 2前			2						ĺ		10
		1・2前・後			2	l		Ì	I	Ì	Ì	l	3

	17 11 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	配		単位数	Į.	車	仟教	員等	の配	置	:
	授業科目の名称	当年 4	必有		自由	教授	准教授	講師		助手	
	多文化支援プロジェクト(地方の能力)	1・2前		2							1
	多文化支援プロジェクト(広島再発用)	1・2機		2							1
	タ大名前数プロテェテト(日本語・日本大名セルテー)	1 - 22		2							1
教	哲学	1 - 2		2							1
養	倫理学	1 • 2🌺		2							1
科	美学	1・2前		2							1
目	芸術学 日本文学	1・2前		2							<b>2</b> 1
	西洋文学			2 2							1
	日本語学	1·2義 1·2前		2							i
	心理学	1 - 2(3)		2							2
	文化論	1 - 2		2							1
	文化人類学	1・2前		2							1
	日本史	1・2前		2							2
	東洋史	1・2前		2							1
	西洋史	1・2前		2							2
	地理学	1 - 2		2							2
	社会学	1・2前		2							1
	法学 政治学	1 · 2前 1 · 2前		2 2							1
	経済学	1 - 289		2							i
	統計学	1・2前		2							i
	情報社会論	1・2前		2							1
	物理学	1・2後		2							1
	化学	1 - 2前 - 後		2							1
	生物学	1 - 2前 - 後		2							1
	環境科学	1 - 2前 - 後		2							1
	数学	1・2前		2							1
	教養講義(現代の哲学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋の美術) 教養講義(西洋の音楽)	1・2後		2 2							1
	教養講義(四洋の音楽) 教養講義(江戸文学)	1・2後		2				l	l		1
	教養講義(ドイツ文学)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋文化論)	1・2號		2							i
	教養講義(アジアの文化と社会)	1・2後		2							i
	教養講義(日本近代史)	1・2後		2							1
	教養講義(日本近現代史)	1・2後		2							1
	教養講義(東洋近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(西洋中近世史)	1・2後		2							1
	教養講義(生活の中の地理学)	1・2後		2							1
	数要請載(社会学のものの見方と考え方)	1・2後		2							1
	教養講義(社会と政治)	1・2前		2							1
	教養講義(現代経済学) 教養講義(応用統計学)	1・2後		2 2							1
	教養講義(情報環境論)	1・2後		2							i
	教養講義(ヒトの生命科学)	1・2後		2							i
	教養講義(応用数学)	1・2後		2							i
	総合教養講義a(近現代の哲学)	1・2後		2							i
	総合教養講義8(西洋美術の図像学)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(浮世絵)	1・2前		2							1
	総合教養講義(江戸時代の化粧・結髪)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(神仏と芸能)	1・2後		2							1
	総合教養講義8(現代日本語の特質)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(英語と日本語) 総合教養講義a(ことばと社会)	1・2前		2 2							1
	総合教養講義a(ピアノ講座)	1 • 2mm		2							1
	総合教養講義a(声楽と合唱)	1・2後		2							i
	総合教養講義a(教育文化論)	1・2後		2		1					
	総合教養講義a(歴史と社会)	1 - 2		2							1
	総合教養講義3(現代日本社会の諸相)	1・2後		2							1
	総合教養講義ョ(日本の社会および経済の文化的基礎)	1・2前		2							1
				_							,
	総合教養講義(ペーシック・ファイナンス)	1・2前		2							1
	取合数要請義a(コーポレートファイナンス入門) 総合数要講義a(働く人のための経営学)	1・2後		2 2							1
	<b>wuwメの根=(用くヘルに即り在品子</b> )	1 - 2		4				l	l		'
	総合教養講義a(現代社会と企業)	1 - 2		2							1
		2 🚾		-							
	総合教養講義a(市民と行政法)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(家族と法)	1 - 2		2							1
	総合教養講義a(事例で学ぶ民法)	1 - 2		2							1
	総合板養講義s(現代社会と企業法)	1 - 2		2							1
	総合教養講義 (国際社会と法)	1・2前		2							1
	総合教養講義a(情報と社会)	1・2後		2							1
	総合教養講義a(生命の化学)	1 • 2		2							1
	総合教養講義a(病気の生物学) 総合教養講義a(大気の環境問題と生態系)	1 - 2前 - 後		2 2							1
	総合教養講義 (大気の環境問題と生態系) 総合教養講義 (生物多様性保全の環境問題)			2							1
	総合教養講義a(宇宙と環境科学)	1 - 2 😭 - 後 1 - 2前 - 後		2							l i l
				-							
	総合教養講義b(芸術文化学)	2 🎁 - 🌺		2							1
	総合教養講義b(江戸時代の服飾)	2後		2							1
	総合教養講義b(和紙)	2後		2							1
	総合教養講義b (メディア論)	2前		2							1
	総合教養講義b(社会保障論)	2後		2							1
	総合教養講義b(労働問題と法)	2後		2							1
	総合教養講義b(国際理解)	2前		2							1
	総合教養講義b(生命情報論)	2前		2							1
	総合教養コース(世界の言語と文化) 総合教養コース(情報化社会と人間)	1・2前		2 2							10 3
	□□が太□ ハ(清報ル位表 C人間)	2制・後									J

	授業科目の名称	配当年	単位			任教				:			授業科目の名称	配 当 年		单位数	_		任教				*
外	英語文書表現I	井 次 1・2前	必修選手	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	2		外	英語リスニングI	1前	必修	選 択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	3
国	英語文書表現Ⅱ	1・2後	2							2		国	英語リスニングⅡ	1後		i							3
語	英語文書表現Ⅲ	1・2前	2							1		語	英語リスニング皿	1前		1							2
科目	英語文書表現Ⅳ 英語読解 I	1·2後 1·2前	2 2							1 4		科目	英語リスニングⅣ 英語リスニングⅤ	1後  1前									2
英	英語読解Ⅱ	1・2後	2							4		英	英語リスニングVI	1後		i							Ιi
語	英語読解Ⅲ	1・2前	2							1		語	英語リーディングI	1前		1							3
科目	英語読解Ⅳ 英語聴解 I	1・2後	2 2							1		科日	英語リーディングⅡ 英語リーディングⅢ	1後  1前		1							3 2
	英語聴解Ⅱ	1・2後	2							3		П	英語リーディングⅣ	1後		i							2
	英語聴解Ⅲ	1・2前	2							1			英語リーディング∇	1前		1							1
	英語聴解IV <sup>英語コミュニケーション I</sup>	1・2後	2 2							1			英語リーディングVI 英語ライティング研究 I	1後		1 2							1
		1・2般	2							3			英語 ライティング研究 I	1・2数		2							Ιi
	英語コミュニケーションⅢ		2							2			英語ライティング研究室(未開除)	1 - 2前		2							1
	<sup>英語コミュニケーション™</sup> 英語語法研究 I	1・2後	2							2			英語読解研究 I	1 · 2後 1 · 2前		2 2							1 3
	英語語法研究Ⅱ	1・2個	2 2							2			英語読解研究Ⅱ	1・2級		2							3
	英語語法研究Ⅲ ( <b>未開課</b> )	1・2前	2							1			英語読解研究皿	1・2前		2							1
	英語語法研究Ⅳ (未開講) 次 +女 = 五 T	1·2後 1·2前	2							1			英語読解研究Ⅳ   英語聴解研究	1・2後		2							1
	資格英語 I 資格英語 Ⅱ	1・2削	2 2							5			英語聴解研究 I 英語聴解研究 Ⅱ	1 · 2前 1 · 2後		2 2							2 2
	資格英語Ⅲ	1・2前	2							2			英語聴解研究Ⅲ	1 - 210		2							ī
	資格英語Ⅳ	1・2後	2							2			英語聴解研究Ⅳ	1・2機		2							1
	英語プレゼンテーション I 英語プレゼンテーション II	1・2前	2 2							1			英語コミュニケーション研究I 英語コミュニケーション研究I	1 · 2前 1 · 2後		2							2 2
	アドバンスト英語 (Japanese Film)	2 - 3 - 4前	2							i			英語コミュニケーション研究室	1 - 2前		2							ī
	アドバンスト英語(Cross Cultural Communication)	2 - 3 - 4前	2			-				1			美術コミュニケーション研究取 ***: またまたとれて取りつ T	1・2後		2						Ī	1
						-							英語語法研究 I 英語語法研究 Ⅱ	1・2前		2						Ī	2
	アドバンスト英語(Contract Bridge and Card Game Culture)	2 - 3 - 4前	2			-				1			英語語法研究Ⅲ	1・2歳		2						Ī	1
	アドバンスト英語(Aspects of	2 - 3 - 4後	2							2			英語語法研究Ⅳ	1・2義		2							1
	Japanese Language and Society)		I I -							_			資格英語研究Ⅰ	1 - 2前		2							5
	アドバンスト英語(Japanese Studies) アドバンスト英語(Video Gaming from	2 - 3 - 4後	-							1			資格英語研究Ⅱ 資格英語研究Ⅲ	1 · 2後 1 · 2前		2 2							5 2
	アドハンスト英語(Video Gaming from East to West)	2 - 3 - 4後	2							1			資格英語研究Ⅳ	1・2後		2							2
	オンライン英語実習 I (衆間線)	1・2前	1							1			資格英語研究 ♥ (未開請)	1 - 2前		2							1
	オンライン英語実習 I (未開業)	1・2後								1			資格英語研究VI ##プレゼンテーション研究I	1 · 2後 1 · 2前		2 2							
	日本語 V 日本語 VI	1・2削	lli							1			美田プレゼンテーション研究I 美田プレゼンテーション研究I	1・2個 1・2機		2							Ιi
													実用英語実習I	1 - 2前		1							1
	1° / W=T T	124		-								-	実用英語実習エ	1 - 20		1							1
外国	ドイツ語 I  ドイツ語 II	1前 1後	1 1							1		外国	ドイツ語 I  ドイツ語 II	1前 1後		1							1
語	ドイツ語皿	1前	i							i		語	ドイツ語皿	1前		i							i
科	ドイツ語Ⅳ	1後	1							1		科	ドイツ語Ⅳ	1後		1							1
目	フランス語I	1前	1							1		目	フランス語Ⅰ	1前		1							1
初修	フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ	1後 1前								1		初修	フランス語 Ⅱ フランス語Ⅲ	1後 1前		1							1
外	フランス語Ⅳ	1後	1							i		外	フランス語Ⅳ	1後		1							i
国	スペイン語Ⅰ	1前	1							1		国	スペイン語 I	1前		1							1
語科	スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ	1後 1前								1		語科	スペイン語 II  スペイン語 II	1後 1前		1							1
	スペイン語Ⅳ	1後								i		目	スペイン語Ⅳ	1後		i							i
	中国語 I	1前	1							1			中国語I	1前		1							1
	中国語 II 中国語II	1後	1 1							1			中国語Ⅱ 中国語Ⅲ	1後		1							1
	中国語IV	1前 1後	lli							1			中国語以	1前 1後		1							1
	韓国·朝鮮語 I	1前	1							1			韓国·朝鮮語 I	1前		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1							1			韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							1
	韓国・朝鮮語Ⅲ 韓国・朝鮮語Ⅳ	1前 1後	1 1							1			韓国・朝鮮語Ⅲ 韓国・朝鮮語Ⅳ	1前 1後		1							1
	上級外国語 I (中国語)	2前	2							i			上級外国語 I(ドイツ語)	2前		2							1
	上級外国語 Ⅱ (中国語)	2後	2							1			上級外国語 II (ドイツ語)	2後		2							1
	上級外国語 I (韓国·朝鮮語) 上級外国語 II (韓国·朝鮮語)	2前	2 2							1			上級外国語 I (フランス語) 上級外国語 II (フランス語)	2前		2							1
	日本語Ⅵ	2後 1·2前	1							1			上級外国語 I (スペイン語)	2後 2前		2							H
	日本語Ⅷ	1・2後	1							1			上銀外国語 II (スペイン語)	2後		2							i.
	日本語区	1・2前	1							1			上級外国語 I (中国語)	2前		2							1
	日本語 X 言語と文化 I (ドイツ)	1·2後 2前	1 2							1			上級外国語 II (中国語) 上級外国語 I (韓国·朝鮮語)	2後 2前		2							1
	言語と文化Ⅱ(ドイツ)	2後	2							i			上級外国語 II (韓国·朝鮮語)	2後		2							i
		2前	2							1			言語と文化 I (ドイツ)	2前		2							1
		2後	2							1			言語と文化Ⅱ(ドイツ)			2							1
	言語と文化 I (フランス) 言語と文化 II (フランス)	2前 2後	2 2							1			言語と文化Ⅲ(ドイツ) 言語と文化Ⅳ(ドイツ)	2前 2後		2							1
	言語と文化皿(フランス)	2前	2							1			言語と文化 I (フランス)	2前		2							1
	言語と文化IV(フランス)	2後	2							1			言語と文化Ⅱ(フランス)	2後		2							1
	言語と文化 I (スペイン) 言語と文化 II (スペイン)	2前 2後	2 2							1			言語と文化Ⅲ(フランス) 言語と文化Ⅳ(フランス)	2前 2後		2						ĺ	1
	言語と文化皿(スペイン)	2板 2前	2			- 1				1			言語と文化 I (スペイン)	2饭 2前		2						Ì	1
	言語と文化Ⅳ(スペイン)	2後	2			- 1				1			言語と文化 II (スペイン)	2後		2						Ì	1
	言語と文化Ⅰ(中国)	2前	2							1			言語と文化皿(スペイン)	2前		2						ĺ	1
	言語と文化 II (中国) 言語と文化II (中国)	2後 2前	2 2							1			言語と文化Ⅳ(スペイン) 言語と文化 I (中国)	2後 2前		2						ĺ	1
	言語と文化取(中国)	2後	2							i			言語と文化Ⅱ(中国)	2後		2						ĺ	i
	言語と文化 I (韓国・朝鮮)	2前	2							2			言語と文化皿(中国)	2前		2						ĺ	1
	言語と文化II(韓国・朝鮮) 言語と文化II(韓国・朝鮮)	2後	2							2			言語と文化IV(中国) 言語と文化I(韓国・朝鮮)	2後		2						ĺ	1 2
	言語と文化Ⅲ(韓国・朝鮮) 言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2前 2後	2 2			1				1			言語と文化Ⅰ(韓国・朝鮮) 言語と文化Ⅱ(韓国・朝鮮)	2前 2後		2						Ì	2
		- 12	~							•			言語と文化皿(韓国・朝鮮)	2前		2						ĺ	1
L			ı L		Ш	L					]		言語と文化Ⅳ(韓国・朝鮮)	2後		2	<u> </u>					<u> </u>	1

	授業科目の名称	配当年	必修	単位数 選 択	女 由	_	任教			置助手	:		授業科目の名称	配当年		単位数	女 由 由		任教	員等		置 助 手	
保	健康科学論	1 - 2前 - 後	90 B	2	п	9A 1X	48.9A1X	an Di	ay) 9X	ay) T	2	保	健康科学論	1・2前・後	90 N	2	п	9A 1X	78. 9A 1X	ars PU	190 - 23X	ay T	2
健	運動科学論	1・2後		2							1	健	運動科学論	1・2後		2							1
体育	健康科学演習 運動科学演習	1・2前		2							1	体	健康科学演習 運動科学演習	1 · 2機 1 · 2機		2							1
科		1・2前		1		1					١.	科	健康スポーツ実習(エアロビクス)	1 - 2		1		1					'
目	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1 - 2		1							1	目	健康スポーツ実習(ゴルフ)	1 - 2		1							1
	健康スポーツ実習(サッカー)	1・2前・後		1							1 1		健康スポーツ実習(サッカー)	1・2前・後		1							1
	健康スポーツ実習(ソフトボール)	1・2前・後		i			1				i		健康スポーツ実習(ソフトボール)			1			1				1
	健康スポーツ実習(卓球)	1・2前		1							2		健康スポーツ実習(卓球)	1・2前		1							2
	健康スポーツ実習(テニス) 健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1・2前・映		1							<b>3</b> 1		健康スポーツ実習(テニス) 健康スポーツ実習(ニュースポーツ)	1 - 211		1							3
	健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前・後		i							i		健康スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前・後		i							i
	健康スポーツ実習(バドミントン)	1・2後		1		١.	1				1		健康スポーツ実習(バドミントン)	1 - 2 🙀 - 🙀		1			1				1
	健康スポーツ実習(ボディワーク) 健康スポーツ実習(Shudo AP)	1・2後		1		1					1		健康スポーツ実習(Shudo AP)	1 - 246		1							1
	健康スポーツ実習(アダプテッド・スポーツ)(未開講)	1・2後		i			2				i		健康スポーツ実習(アダプテッド・スポーツ)	1 - 20		1			2				'
	運動スポーツ実習(アウアティッウスポーツ)	1 - 2前 - 後		1		l,					1		運動スポーツ実習(アウアティッウスポーサ)	1 - 2前 - 後		1							1
	運動スポーツ実習(エアロビクス) 運動スポーツ実習(ゴルフ)	1・2後		1		1					4		運動スポーツ実習(ゴルフ)	1 - 20		1							1
	運動スポーツ実習(サッカー)	1・2億・後		i							i		運動スポーツ実習(サッカー)	1・2冊・後		1							2
	運動スポーツ実習 (ソフトボール)	1 - 2		1			1				2		運動スポーツ実習(ソフトボール)	1 • 2🌺		1			1				2
	運動スポーツ実習(卓球) 運動スポーツ実習(ダンス)	1・2前・後		1		1					2		運動スポーツ実習(卓球)	1 - 2前 - 後		1							2
	運動スポーツ実習(テニス)	1 - 2前 - 後		i		l '					3		運動スポーツ実習(テニス)	1 - 2前 - 後		1							3
	運動スポーツ実習(バスケットボール)	1・2前・後		į							1		運動スポーツ実習(バスケットボール)	1 - 2前 - 後		1							1
	運動スポーツ実習(バドミントン) 運動スポーツ実習(バレーボール)	1 - 2前 - 機		1							2		運動スポーツ実習(パドミントン) 運動スポーツ実習(パレーボール)	1・2前・機		1							2
	連動スポーツ実質(パレーホール) 連動スポーツ実質(ボディーワーク)(未開講)	1・2前・映 1 • 2前		1		1					l '		連動スポーツ実習(パレーホール) 運動スポーツ実習(ボディーワーク)	1 - 2前 - 映		1		1					'
	野外運動実習 I (キャンプ)	2前		1			1				2		野外運動実習 I (キャンプ)	2前		1			1				2
	野外運動実習 I (スキー) 野外運動実習 I (キャンプ発展)	2後		1							2		野外運動実習 I (スキー) 野外運動実習 I (キャンプ発展)	2後		1							2
1	野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展) 野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2前 2後		1							1		野外運動実習Ⅱ(キャンプ発展) 野外運動実習Ⅱ(スキー発展)	2前 2後		1							1
人	差別問題論	1前	2								1	人	差別問題論	1前	2								1
文学	日本文化史 I 日本文化史 II	1・2前		2							1	文学	日本文化史 I 日本文化史 II	1・2前		2							1
部	日本文化史』 Media English I	1 · 2 <b>前</b> 2 · 3前		2							4	部	日本又16史 II Media English I	1·2 <b>使</b> 2·3前		2							4
総	Media English II	2・3後		2							4	総	Media English II	2・3後		2							4
合	Business English I	2・3前		2							3	合	Business English I	2・3前2・3後		2							3
科目	Business EnglishⅡ 憲法Ⅰ	2・3後		2							3	科目	Business EnglishⅡ 憲法Ⅰ	1・2前		2							3
-	憲法Ⅱ	1・2後		2							2	-	憲法Ⅱ	1・2後		2							2
	人文学部特別講義(プレゼンテーション論)	1・2前		2							1		English Communication I	1・2前		2							1
	人文学部特別演習(前 L 学解除) (★■■) インターンシップ	1・2前2・3通		2		1					1 5		English Communication II  A文字影響別講義(プレゼンテーション語)( 章間節)	1 · 2後 1 · 2前		<b>2</b> 2							1
				_		-							人大学等等別論管(施し字録論・平仮名)	1 - 2前		2							1
													人大学部特別教育(像し字単稿・集中)	1・2機		2							1
													インターンシップ	2 · 3通 2 · 3通		2		1					1
													長期インターンシップA	2 - 3運		4							i
亩	<b>数</b>	1 ***	0			_					•	専	長期インターンシップB 数本学は体定羽	2 · 3 ·	0	8		0	_				1
攻	教育学基礎演習 教育研究演習 I	1前 2前	2			<b>4</b> 8	2				<b>3</b> 4	攻	教育学基礎演習 教育研究演習 I	1前 2前	2			8 7	<b>5</b> 2				3
科目	教育研究演習 Ⅱ	2後	2			8	2				4	科目	教育研究演習Ⅱ	2後	2			7	2				3
演	教育学演習 I 教育学演習 II	3前 3後	2			8	2				4	演	教育学演習 I 教育学演習 Ⅱ	3前 3後	2			8	2				4
習	教育学演習Ⅲ	3伎 4前	2			8	2				4	習	教育学演習Ⅲ	3仮 4前	2			8	2				4
科目	教育学演習Ⅳ	4後	2			8	2				4	科目	教育学演習Ⅳ	4後	2			8	2				4
専	卒業研究 <b>教育原理(初等)</b>	<u>4通</u> 1前	2			8	2				4	群	卒業研究 <b>教育原理</b>	<u>4通</u> 1前	4 2			8	2				4
攻	教育原理(伊等)	1前	2			H						りり	教育原理 教育制度論	1艘	2			l					1
科	教育制度論(初等)	1後	2								1	科	人権教育論	1後	2								1
目	教育制度論(中等) 人権教育論	1前 1谷	<b>2</b> 2								1	目	教育哲学 教育社会学	2 - 3		2		1					1
専	入惟叙肖語 教育哲学	1後 2·3前	۷	2		1					l '	専	教育社会学教育文化史	2 · 3美 2 · 3前		2		1					'
攻	教育社会学	2・3前		2							1	攻	教育史	2・3後		2		1					
科日	教育文化史	2・3前2・3後		2		1						科	教育政策論	2・3前		2		1					1
目 A	教育史 教育政策論	2・3後		2		1					1	I B	生涯学習論 I (未開講) 生涯学習論 II (未開講)	1・2前		2		1					
群	生涯学習論 I	1・2前		2		1					l .	群	社会教育計画 I	1・2機		2		1					
	生涯学習論Ⅱ	1・2後		2		1							社会教育計画Ⅱ	1・2前		2		1					
	社会教育計画 I (未開講) 社会教育計画 II (未開講)	1 · 2前 1 · 2後		2		1							教育方法論 幼児理解の方法	2·3前 2·3後		<b>2</b> 2							1
	中等教育方法論	2・3前		2		l .					1		特別支援教育概論	2・3前		2		1					,
	初等教育方法論	2・3前		2							1		重複・発達障害概論	2・3後	2			1					
	初等教育方法論 幼児理解の方法	2・3前2・3後		2							1 1												
	特別支援教育概論	2・3前		2		1					l .												
<u>_</u>	重複・発達障害概論	2·3後	2	_		1	-				_	<u> </u>	and the MA did take to I see that the second	224		0		<u> </u>	-				_
専攻	教育学特論 I (教職教養研究) 教育学特論 I (初等・教科内容研究)	3前 3後		2		2					2	専	教育学特論 I (教職教養研究) 教育学特論 I (初等・教科内容研究)	3前 3後		2		2	1				2
科	教育学特論Ⅱ(中等・教科内容研究)	3後		2		-					1	科	教育学特論 II (中等・教科内容研究)	3後		2		-					1
目	教育学特論Ⅱ(幼児・教科内容研究) 教育学特論Ⅲ(仕充安社長達Ⅲ(物)	3後		2			2				n	目	教育学特論Ⅱ(幼児・教科内容研究) 教育学特論Ⅱ(幼児・教科内容研究)	3後		2			2				0
専	教育学特論Ⅲ(体育実技指導研究) 教育学特論Ⅳ(ひろしまの教育)	2・3後		2		1	1				2	車	教育学特論Ⅲ(体育実技指導研究) 教育学特論Ⅳ(ひろしまの教育)	2・3後		2		1	1				2
攻	教育学特論 V (野外活動指導法)	2・3前		2		i						攻	教育学特論 V (野外活動指導法)	2・3前		2		1	ļ .				
科	教育学特論VI(絵画表現)	2・3前		2			1					科	教育学特論Ⅵ(絵画表現)	2・3前		2			1				_
目 B	教育学特論で(レクリエーション) 教育学特論で(音楽理論とピアノ実技)	2・3前2・3前		1			1				1 1	目  B	教育学特論班(レクリエーション) 教育学特論理(音楽理論とピアノ実技)	2・3前2・3前		1			1				1
群	教育学特論区(音楽理論とピアノ実技)	2・3後		i			i				i	群	教育学特論区(音楽理論とピアノ実技)	2・3後		1			i				1
1	教育学特論区(音楽理論とピアノ実技)	2・3前		1			1				1		教育学特論 X (発声法)	2・3前		1		4					1
1	教育学特論X(発声法) 社会教育演習	2・3前2・3前・後		1		1							社会教育演習 社会教育実習	2·3 <mark>●</mark> 3通		2		1					
1	E A M H M H					. '		ı			•	ı		VШ	ı	_	1	' '	1	ı			

_	授業科目の名称	当年次	_	单位数 選 択	自由	_		員等		:	L	授業科目の名称	当年次	単位3	1	_	任教	貝守		_	1
	社会教育実習	3通		2		1						学校教育インターンシップ	2・3通	2		1	1				Ī
_	学校教育インターンシップ 教職入門 (初等)	2・3通		2		1	1			3	専	教職入門	1 100	0							Ł
<u>.</u>	教職入門(初等)	1前 1前		2						H	攻	歌職八门   中等社会科教育法B	1前 3前	2 2							
Ì	教育心理学Ⅱ	2・3後		2						1	科	中等社会科教育法演習B	3後	2							
	中等社会等教育(地理歴史分野)	3前		2						1	目	社会科·地理歷史科教育法B	3前	2							ı
ζ	中等社会製象育(公民分野) 社会科・地理歴史科教育法	3後		<b>2</b> 2						1	*/-	社会科·公民科教育法B 中等教育実習事前事後指導	3前 3・4通	<b>2</b>							ı
ì	社会科・公民科教育法	3前 3前		2						1	教職	中等教育実習Ⅰ	3・4通	2							
	中等道徳教育論	2後		2						i	専	中等教育実習Ⅱ	4通	2							l
	中等特別活動論	2後		2						1	門	日本史概論I	1前	2							l
-	中等生徒・進路指導論	2前		2						1	科目	日本史概論 Ⅱ 東洋史概論 I	1·2後 1前	2 2							l
ļ É	中等教育相談	2後		2						1	一	東洋史概論Ⅱ	I 月リ 1・2後	2							
	中等教育実習事前事後指導	3・4通		1						2		西洋史概論 I	1前	2							l
	中等教育実習Ⅰ	3・4通		2						1		西洋史概論Ⅱ	1・2後	2							l
	中等教育実習Ⅱ 日本史概論Ⅰ	4通 1前		2						1		人文地理学 I 人文地理学 Ⅱ	2·3前 2·3後	2 2							l
	日本史概論Ⅱ	1 · 2後		2						iΙ		自然地理学	2・3前	2							l
	東洋史概論I	1前		2						1		地誌 I	2・3前	2							l
	東洋史概論Ⅱ	1・2後		2						1		地誌Ⅱ	2・3後	2							l
	西洋史概論 I 西洋史概論 Ⅱ	1前		2						1 1		人間観の思想 (未開講) 哲学概論 I	2·3後 1前	2 2		1					l
	人文地理学 I	2・3前		2						iΙ		哲学概論Ⅱ	1・2後	2							l
	人文地理学Ⅱ	2・3後		2						1		倫理学概論 I	1前	2							l
	自然地理学	2・3前		2						1		倫理学概論Ⅱ	1・2後	2							l
	地誌 I 地誌 Ⅱ	2・3前2・3後		2						1 1		法律学概論 政治学概論	1·2後 2·3 <b>使</b>	2 2							١
	<sup>地説日</sup> 人間観の思想	2・3後		2		1						国際法	2·3 <del>使</del> 2·3後	4							١
	哲学概論 I	1後		2						1		国際政治学I	2・3前	2							١
	哲学概論Ⅱ	1·2後		2						1		国際政治学Ⅱ	2·3後	2							l
	倫理学概論 I 倫理学概論 Ⅱ	1前 1·2後		2						1 1		現代経済入門 I 現代経済入門 Ⅱ	1前 1後	2 2							l
	法律学概論	1・2後		2						4		<b>教職実験装置(幼・小・中・高)</b>	4後	2		2	1				١
	政治学概論	2・3前		2						1		初等教育実習事前事後指導(小)	3後	1		1					١
	国際法	2·3後 2·3前		4 2						1		初等教育実習事前事後指導(幼)	3・4後	1 2			1				l
	国際政治学 I 国際政治学 II	2・3削		2						1		初等教育実習 I 初等教育実習 Ⅱ	3後 3後	2		1					l
	現代経済入門I	1前		2						2		初等教育実習皿	3・4後	2		l '					l
	現代経済入門Ⅱ	1後		2						2		教育心理学	2 - 3前	2							l
	教職実践演習(中・高)	4後		2		۰	4			5		生活科教育法	3前	2		1	4				l
	教職実践演習(幼・小) 初等教育実習事前事後指導(小)	4後 3後		2		2	1			1 1		音楽科教育法 図画工作科教育法	3前 3前	2 2			1				l
	初等教育実習事前事後指導(幼)	3・4後		1		l	1			1		体育科教育法	3前	2		1	i i				l
	初等教育実習I	3後		2		١.				1		家庭科教育法	3前	2							l
	初等教育実習 Ⅱ 初等教育実習Ⅲ	3後		2		1				1		国語科教育法 初等社会科教育法	2 · 3前 2 · 3前	2 2			1				
	初寺教育美音皿 教育心理学 I	3・4後2・3前		2						1 1		算数科教育法	2・3前	2		1					ı
	生活科教育法	3前		2		1				•		理科教育法	2・3後	2		l '					ı
	音楽科教育法	3前		2			1					初等英語教育論	2・3前	2							
	図画工作科教育法 体育科教育法	3前 3前		2		1	1					道徳教育論 教育相談	2 · 3前 2 · 3前	2 2							
	家庭科教育法	3前		2		l '				1		生徒・進路指導論		2							ı
	国語科教育法	2・3前		2			1					特別活動論	2 - 3前	2							
	初等社会科教育法	2・3前		2		١.,				1		初等教育(国語)	1後	2			1				
	算数科教育法 理科教育法	2・3前2・3後		2		1				1		書写 初等教育(社会)	1前 1後	1 2							
	初等英語教育論	2・3前		2						ΙίΙ		初等教育(質数)	1後	2		1					
	初等道徳教育論	2・3前		2						1		初等教育(理科)	2・3前	2							
	初等教育相談	2・3前		2						1		初等教育(生活)	2・3後	2		1					l
	初等生徒・進路指導論 初等特別活動論	2 · 3前 2 · 3前		<b>2</b> 2						1 1		初等教育(体育)初等教育(音楽)	2·3後 2·3後	2 2		1	1				١
	初等教育(国語)	1後		2						1		初等教育(図画工作)	2・3後	2			1				١
	書写	1前		1						1		初等教育(家庭)	2・3後	2							١
	初等教育(社会)	1後		2						1		保育原理	2 · 3前	2		1					١
	初等教育(算数) 初等教育(理科)	1後		2		1				1		保育者論 児童家庭福祉論	1前 3前	2 2							١
	初等教育(生活)	2・3後		2		1						社会福祉論	2・3後	2		1					١
	初等教育(体育)	2・3後		2		1						相談援助演習	3後	2							١
	初等教育(音楽)	2・3後		2			1					社会的養護論	3後	2							١
	初等教育(図画工作) 初等教育(家庭)	2・3後		2			1			1		幼児発達心理学 幼児心理学演習	2·3前 3前	2 2							١
	保育原理	2・3前		2		1						子どもの保健 I	2·3前	2			1				١
	保育者論	1前		2						1		子どもの保健Ⅱ	3前	2			1				١
	児童家庭福祉論 サーダル会	3前 2·3後		2		1				1		子どもの保健演習	3前	2							١
	社会福祉論 相談援助演習	3後		2		1				1		子どもの食と栄養 家庭支援論	3前 3後	2 2							١
	社会的養護論	3後		2						i		保育課程論	3前	2							١
	幼児発達心理学	2・3前		2						1		保育内容総論	2・3後	2		1					١
	幼児心理学演習	3前		2						1		保育内容(言葉)	3前	2			1				١
	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ	2・3前		2			1			1		保育内容(健康) 保育内容(人間関係)	3前 2·3後	2 2		1	1				١
	子どもの保健演習	3前		2						i		保育内容(環境)	2・3使	2		1					١
	子どもの食と栄養	3前		2						1		保育内容 (音楽的表現)	3後	2			1				١
	家庭支援論	3後		2						1		保育内容(造形的表現)	2・3後	2			1				١
	保育課程論 保育内容総論	3前 2·3後		2		1				1		<sup>保育内容(身体的表現)</sup> 乳児保育演習	3後 2·3後	2 2			1				١
	休月内谷総調 保育内容(言葉)	3前		2		l	1					孔兄休月 澳首 障害児保育演習	2・3般	2			1				١
	保育内容 (健康)	3前		2			i					社会的養護内容	3後	2							١
	保育内容(人間関係)	2・3後		2						1		保育相談支援	2・3後	2							١
	保育内容 (環境) <sup>保育内容 (音楽的表現)</sup>	2・3前		2		1	1					音楽表現技術 I 音楽表現技術 II	2·3前 2·3後	2 2			1				١
		<b>31天</b> 2・3後		2		l	¦		Ì	1 1			2・3級	2	l	Ī	1 : 1	Ì	Ì	Ì	۱

	担業利口の夕折	配当年	Ĺ	单位数	女 文	専	任教	員等	の配	置	:
	授業科目の名称	次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	学校教育インターンシップ	2・3通		2		1	1				3
車	教職入門	1前		2							1
攻	中等社会科教育法B	3前		2							l i
科	中等社会科教育法演習B	3後		2 2							1
目	社会科・地理歴史科教育法B	3前									1
#/-	社会科·公民科教育法B 中等教育実習事前事後指導	3前		2							1 2
教職	中等教育実習Ⅰ	3・4通3・4通		1 2							1
専	中等教育実習Ⅱ	4通		2							i
門	日本史概論I	1前		2							1
科	日本史概論Ⅱ	1・2後		2							1
目	東洋史概論Ⅰ	1前		2							1
群	東洋史概論 Ⅱ 西洋史概論 I	1・2後		2							1
	西洋史概論Ⅱ	1 月1		2							i
	人文地理学 I	2・3前		2							1
	人文地理学Ⅱ	2・3後		2							1
	自然地理学	2・3前		2							1
	地誌 I 地誌 II	2・3前2・3後		2							1
	大間観の思想 (未開講)	2・3後		2		1					'
	哲学概論 I	1前		2							1
	哲学概論Ⅱ	1・2後		2							1
	倫理学概論I	1前		2							1
	倫理学概論 Ⅱ 法律学概論	1 - 2後		2							1
		1·2後 2·3 <mark>後</mark>		2							1
	国際法	2・3後		4							i
	国際政治学 I	2・3前		2							1
	国際政治学Ⅱ	2·3後		2							1
	現代経済入門 I 現代経済入門 Ⅱ	1前 1後		2							2
	を職実務演習(幼・小・中・高)	4後		2		2	1				2 2 2 1
	初等教育実習事前事後指導(小)	3後		1		1	· ·				1
	初等教育実習事前事後指導(幼)	3・4後		1			1				1
	初等教育実習Ⅰ	3後 3後		2		1					1
	初等教育実習 Ⅱ 初等教育実習Ⅲ	3・4後		2		'					1
	教育心理学	2 - 3前		2							1
	生活科教育法	3前		2		1					
	音楽科教育法	3前		2			1				
	図画工作科教育法 体育科教育法	3前 3前		2		1	1				
	家庭科教育法	3前		2		'					1
	国語科教育法	2・3前		2			1				-
	初等社会科教育法	2・3前		2							1
	算数科教育法 理科教育法	2·3前 2·3後		2		1					1
	初等英語教育論	2・3版		2							1
	道徳教育論	2 - 3前		2							1
	教育相談	2・3前		2 2 2							1
	生徒·進路指導論 特別活動論	2 · 3前 2 · 3前		2							1
	初等教育(国語)	1後		2			1				•
	書写	1前		ī			٠.				1
	初等教育(社会)	1後		2							1
	初等教育(算数)	1後		2		1					4
	初等教育(理科) 初等教育(生活)	2·3前 2·3後		2		1					1
Ī	初等教育(生活)	2・3後		2		i					
	初等教育(音楽)	2・3後		2			1				
l	初等教育(図画工作)	2・3後		2			1				
Ī	初等教育(家庭) 保育原理	2・3後2・3前		2		1					1
	保育者論	1前		2		l '					1
Ī	児童家庭福祉論	3前		2							1
	社会福祉論	2・3後		2		1					
Ī	相談援助演習	3後		2							1
	社会的養護論 幼児発達心理学	3後 2·3前		2							1
Ī	幼児心理学演習	3前		2							1
Ī	子どもの保健 I	2・3前		2			1				
	子どもの保健Ⅱ	3前		2			1				
	子どもの保健演習子どもの食と栄養	3前 3前		2							1
	家庭支援論	3後		2							i
Ī	保育課程論	3前		2							1
	保育内容総論	2・3後		2		1					
Ī	保育内容(言葉) 保育内容(健康)	3前 3前		2			1				
	保育内容(人間関係)	3月月2・3後		2		1	<b>'</b>				
Ī	保育内容(環境)	2・3前		2		i					
Ī	保育内容(音楽的表現)	3後		2			1				
Ī	保育内容(造形的表現) 保育内容(身体的表現)	2·3後 3後		2			1				
Ī	乳児保育演習	<b>31</b> 友 2・3後		2			'				1
Ī	障害児保育演習	2・3前		2			1				,
Ī	社会的養護内容	3後		2							1
l	保育相談支援	2·3後 2·3前		2			1				1
l	音楽表現技術 I 音楽表現技術 II	2・3前		2			1				2
l	図画工作表現技術	2・3前		2			l i				_

	17 11 7 1 7 1 7 1 7 1	182	ĺ	单位数	Į.	車	仟教	員等	の配	置	:
	授業科目の名称	当年次	必修	選択		教授	准教授	講師	助教	助手	
	保育内容 (身体的表現) 乳児保育演習	3後 2·3後		2			1				1
	障害児保育演習 社会的養護内容	2·3前 3後		2			1				1
	保育相談支援 音楽表現技術 I	2·3後 2·3前		2 2			1				1
	音楽表現技術 Ⅱ 図画工作表現技術	2·3後 2·3前		2 2			1				1
	体育表現技術	2・3前		2		1	'				
	保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設)	3通 3通		2		1	1				
	保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅲ(施設)	3・4通3・4通		2		1	1				
	保育実習指導 I (保育所・施設) 保育実習指導 II (保育所)	3前 4前		2		1	1				
	<sup>保育実習指導Ⅲ (施設)</sup> 保育実践演習	4前 4後		2 2		1	1				
	知的障害者の心理・生理・病理	2・3後		2		'	2				1
	肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理	2·3後 3前		2			2				1
	知的障害教育学 知的障害指導法	2・3前2・3後		2			1				
	<sub>肢体不自由の教育と指導</sub> 病弱の教育と指導	3前 3後		2			1				1
	特別支援教育課程論 視覚障害概論	2·3後 3後		2 2		1					1
	聴覚障害概論 特別支援教育実習事前事後指導	3後 4通		2		1	1				1
-	特別支援教育実習	4通		2		'	1				
関連	心理学概論 I 心理学概論 Ⅱ	1・2前 1・2後		2							1
学科	ヒロシマ文化論 I ヒロシマ文化論 Ⅱ	1·2前 1·2後		2							1
科目	社会心理学 認知心理学	1・2後		2							1
	発達心理学 臨床心理学 (未開講)	1 - 2前 1 - 2前		2							1
	知覚心理学 生理心理学	1・2前		2 2							1
	パーソナリティ心理学心理療法	1・2前		2 2							1
	健康心理学(未開講)	1 - 2前		2							1
	メディア論 I メディア論 Ⅱ	1・2前		2							1
	ジャーナリズム論 I ジャーナリズム論 II	1·2前 1·2後		2							1
	比較社会論 共生社会論	1·2前 1·2後		2							1
	現代社会論A 現代社会論B	2・3前		2 2							1
	社会意識論A	2・3前		2							1
	社会意識論B 文化社会学A	2・3後2・3前		2 2							1
	文化社会学B コミュニティ論A	2·3後 2·3前		2							1
	コミュニティ論B コミュニケーション論A	2·3後 2·3前		2							1
	コミュニケーション論B サブカルチャー論A	2·3後 2·3前		2 2							1
	サブカルチャー論B	2・3後		2 2							1
	国際社会学A 国際社会学B	2・3後		2							1
	社会安全政策論 公共政策論	1·2前 1·2後		2							1 5

Ī		四半り口のない	部		È	单位数	攵		専	任教	員	等	の	配	置		
		授業科目の名称	当年を	ø	條	選択	自	由	教授	准教授	請	師	助	教	助	手	:
ı		体育表現技術	2・3前		=	2			1								
		保育実習 I (保育所)	3通			2			Ιi								
		保育実習I(施設)	3通			2				1							
		保育実習 II (保育所)	3 · 4通			2			1	'							
		保育実習皿 (施設)	3・4通			2				1							
١		保育実習指導 I (保育所・施設)	3前			2			1	i							
١		保育実習指導Ⅱ (保育所)	3 · 4前			2			Ιί	'							
١		保育実習指導皿 (施設)	3 - 4前			2			'	1							
١		保育実践演習	4後			2			1	'							1
١		休日大坂/典日 知的障害者の心理・生理・病理	2・3後			2			'	2							i
١		放い降音目の心理・主理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理	2・3後			2				2							
١		病弱者の心理・生理・病理								2							3
١			3前			2											1
١		知的障害教育学	2 - 3			2											
١		知的障害指導法	2・3後			2											
١		肢体不自由の教育と指導	3前			2				1							
١		病弱の教育と指導	3後			2											1
١		特別支援教育課程論	2・3後			2			1								
١		視覚障害概論	3後			2			l								1
-		聴覚障害概論	3後			2			١.								1
١		特別支援教育実習事前事後指導	4通			1			1	1							
١		特別支援教育実習	4通			2				1							
١																	
١																	
١																	
١																	
١																	
١																	
١																	
ı		>> !															
١	関	心理学概論 I	1・2前			2											1
١	連	心理学概論Ⅱ	1・2後			2											1
١	科	ヒロシマ文化論I	1・2前			2											1
١	目	ヒロシマ文化論Ⅱ	1・2後			2											1
١	群	社会心理学	1 - 22			2											1
١		認知心理学 (未開講)	1 - 2			2											1
١		発達心理学	1 - 23			2											1
١		臨床心理学	1・2前			2											1
١		知覚心理学	1 - 23			2											1
١		生理心理学	1 - 2			2											1
١		パーソナリティ心理学 (未開課)	1・2前			2											1
١		心理療法	2・3前			2											1
- [		健康心理学	1 - 22			2			l								1
١		メディア論 I	1・2前			2			l								1
١		メディア論Ⅱ	1・2後			2			l								1
١		ジャーナリズム論 I	1・2前			2			l								1
١		ジャーナリズム論Ⅱ	1・2後			2			l								1
١		比較社会論	1・2前			2			l								1
J		共生社会論	1・2後			2											1
١		現代社会論A	2・3前			2			l								1
١		現代社会論B	2・3後			2			l								1
١		社会意識論A	2・3前			2			l								1
١		社会意識論B	2・3後			2			l								1
١		文化社会学A	2・3前			2			l								1
ı		文化社会学B	2・3後			2											1
١		コミュニティ論A	2・3前			2			l								1
١		コミュニティ論B	2・3後			2			l								1
١		コミュニケーション論A	2・3前			2			l								1
١		コミュニケーション論B	2・3後			2			l								1
-		サブカルチャー論A				2			l								1
١		サブカルチャー論B	2・3後			2			l								1
J		国際社会学A	2・3前			2											1
١		国際社会学B	2・3後			2			l								1
J		社会安全政策論	1・2前			2											2
-		公共政策論	1・2後			2			l								5
	_			_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_

### 【平成28年度】

- ・全学共通科目、外国語科目英語科目における兼任数は、入学者数によるクラス編成数による変更。
- ・時間割調整により、「地理学」の担当者を「兼任1」から「兼担1、兼任1」に変更。
- ・総合教養コースをオムニバス形式とするため、「世界の言語と文化」を「兼担 1」から「兼担・兼任 1 0」に変更。 同様に「情報化社会と人間」を「兼担 1」から「兼担 3」に変更。
- ・保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更
- ・平成29年4月就任予定の教員を配置人数に含めていたため、「教育学基礎演習」を「教授5、准教授3」から「教授4」に修正。 ・専攻科目のうち、教職課程に関する科目を文部科学省の指導により変更し、兼任の採用、担当者の再編を行った。 「教育原理」→「教育原理(初等)」、「教育原理(中等)」、教育制度論→「教育制度論(初等)」「教育制度論(中等)」 「教職入門」→「教職入門(初等)」「教職入門(中等)」、「中等社会科教育法 I 」⇒「中等社会科教育(地理歴史分野)」 「中等社会科教育法 I」⇒「中等社会科教育法 (公民的分野) 」、「中等生徒指導論」⇒「中等生徒・進路指導論」「初等生徒指導論」⇒「初等生徒・進路指導論」
- ・全学的な教職課程履修者の受講者対応のため、「現代経済入門Ⅰ」「現代経済入門Ⅱ」の担当者を「兼担1」から「兼担2」に変更。

## 【平成29年度】

- 情報処理科目の見直しにより、情報処理科目の名称を「情報処理入門」から「情報処理入門Ⅰ」に、「情報処理入門Ⅱ」の詳細科目名を 変更。併せて担当者の見直しを実施。
- ・グローバル科目の再編により、担当者数を変更。 ・留学生教育科目のうち、「日本研究」に詳細科目名を設定。
- ・留学支援教育科目に、留学先で取得した単位の認定科目として「海外研修A~E」を追加。
- 国際共修科目について、詳細科目名を設定。
- ・教養科目の担当者の時間割編成により「西洋文学」「西洋史」「経済学」「総合教養講義a(家族と法)」「総合教養コース(情報化社会と人間)」の
- ・外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な 英語科目の担当者数を変更
- へにいるシェーローを終える。 ・初修外国語の上級クラスを充実させるため、ドイツ語、フランス語、スペイン語に上級科目を設置。それにより、クラス担当者数を変更。 ・保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。

### 【平成30年度】

- ・担当者の退職、採用により、「修大基礎講座」の「教授2、准教授3、兼担1」から「教授1、准教授3、兼担2」に変更。 ・担当者の退職、採用により、「修大基礎講座」の「教授2、 准教授3、 兼担1」から「教授1、 准教授3、 兼担2」に変更。 同様に「初年次セミナー」が「教授8、 准教授2」から「教授6、 准教授5」に変更。
  ・少人数クラスにするため「情報処理入門I」の担当者を「兼任2」から「兼任4」に変更。
  ・交換留学生のクラス充実のため「日本語II」「日本語V」「日本語II」のクラスを増設、「兼任2」から「兼任3」に変更。
  ・グローバルコース履修者への授業充実を図るため、「グローバル特講I」を「兼担1」から「兼担1、兼任1」に変更。
  ・兼任の退職により、「芸術学」「地理学」が「兼担1、兼任1」から「兼担1」に変更。
  ・兼任の採用により、「経済学」「教養講が「兼担2」から「兼担2、兼任1」に変更、教養講義(現代経済学)」が「兼担1」

- から「兼担1、兼任1」に変更。
- ・科目担当者の時間割調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」が「兼担4」から「兼担2」に変更。えr ・外国語科目英語科目については、入学した学生のレベルに応じたクラス設定を行うため、担当者数を変更、それに伴い、全学的な
- 英語科目の担当者数を変更
- ・保健体育科目の前年度の受講希望者により、クラスを再編成したため、担当者数を変更。 ・全学的な教職課程履修者の受講者対応のため、「現代経済入門 I 」「現代経済入門 II 」を「兼担 2 」から「兼担 3 」に 「東洋史概論 I 」を「兼任 1 」から「兼担 1 、兼任 1 」に変更。
- ・クラス再編、担当者の時間割調整により「Media English」を「兼任4」から「兼任3」に変更。

- ・ アンス 分 機能、担当者の時間 司間通により 「インターンシップ」を「兼担4」から「兼担5」に変更。
  ・ 東任の退職、採用によりクラスを再編し、「演習科目」の「専任」「准教授」「兼担5」に変更。
  ・ オムニバス形式の科目に変更したことから「教育学特講IV(ひろしまの教育)」を「教授1、准教授1」から「教授4、准教授4」 に変更
- ・兼担教授から兼任講師への変更により「人間観の思想」を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・持ち時間数の調整により「知的障害教育学」「知的障害指導法」を「准教授 1」から「兼任 1」に変更。 ・兼任の退職により「公共政策論」を「兼任 5」から「兼任 4」に変更。
- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、
  - 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

## (2) 授業科目数

		設置時	の計画			変更	状況		備考
业	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1佣 右
22	科目	426 科目	0 科目	448 科目	14 科目 [ △8 ]	442 科目 [ 16 ]	0 科目 [ 0 ]	456 科目 [ 8 ]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

# (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	総合教養講義b(生命情報論)	2		1 • 2	一般	選択	担当者が病気療養中のため。
2	長期インターンシップB	8		2 • 3	一般	選択	計画中のため。
3	グローバル特講Ⅳ	1		3	一般	選択	対象となる履修者がいないため、次年度以降開講予定。
4	発達心理学	2		1 • 2	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
5	臨床心理学概論	2		1 • 2	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
6	現代社会論A	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
7	現代社会論B	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
8	社会意識論A	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
9	社会意識論B	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
1 0	文化社会学A	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
1 1	文化社会学B	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
1 2	親密性の社会学	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
1 3	表象文化論	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
1 4	コミュニケーション論A	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
1 5	コミュニケーション論B	2		2 • 3	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定。
1 6	広島学(広島県の経済構造)	2		3	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
1 7	広島学(広島・ヒロシマで学ぶ、広島・ヒロシマを学ぶ)	2		2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
1 8	教養講義(西洋の音楽)	2		1 • 2	一般	選択	担当者の退職により、次年度開講予定。
1 9	教養講義(ドイツ文学)	2		1 • 2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
2 0	教養講義(社会と政治)	2		1 • 2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。
2 1	総合教養講義 a (現代日本社会の諸相)	2		1 • 2	一般	選択	担当教員退職により、次年度開講予定。

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

# (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	総合教養講義 a (近現代の美学)	2		1 • 2	一般	選択	全学的な教養科目の見直しにより科目削除。
2	総合教養講義 a (現代社会と会計)	2		1 • 2	一般	選択	全学的な教養科目の見直しにより科目削除。
3	情報処理基礎(プレゼンテーション)	2		1・2前・後	一般	選択	全学的なカリキュラム改正に伴う科目の廃止。
4	教養講義(西欧近代史)	2		1・2後	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
5	総合教養講義a(環境経営入門)	2		1・2前	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
6	総合教養講義a(生活保障論)	2		1・2後	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
7	総合教養講義a(自然環境と災害)	2		1・2前	一般	選択	担当教員退職により科目を廃止。
8	アドバンスト英語(Japanese Film)	2		2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講する ため廃止。
9	アドバンスト英語(Cross Cultural Communication)	2		2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講する ため廃止。
1 0	アドバンスト英語(Contract Bridge and Card Game Culture)	2		2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講する ため廃止。
1 1	アドバンスト英語(Aspects of Japanese Language and Society)	2		2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講する ため廃止。
1 2	アドバンスト英語(Japanese Studies)	2		2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講する ため廃止。
1 3	アドバンスト英語(Video Gaming from East to West)	2		2・3・4前	一般	選択	教育効果を考慮し、平成28年度とは副題の異なる科目を開講する ため廃止。
1 4	健康スポーツ実習(ボディワーク)	1		1・2後	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
1 5	運動スポーツ実習(エアロビクス)	1		1・2後	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
1 6	運動スポーツ実習(ダンス)	1		1・2前	一般	選択	担当者の時間数調整により、平成29年度以降廃止。
1 7	人文学部特別演習(崩し字解読)	2		1・2前	専門	選択	教育効果を考慮し、当初開講予定であった当該科目を「平仮名」 「漢字」の2科目に分けて開講することとしたため。

1 8	中等教育方法論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教育方法論を新設。
1 9	初等教育方法論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教育方法論を新設。
2 0	教育心理学 Ⅱ	2	2・3後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教育心理学を新設。
2 1	中等社会科教育法 I	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外 の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。中 等社会科教育法Bを新設。
2 2	中等社会科教育法 Ⅱ	2	3後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外 の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。中 等社会科教育法演習Bを新設。
2 3	社会科・地理歴史科教育法	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外 の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。社 会科・地理歴史科教育法Bを新設。
2 4	社会科・公民科教育法	2	3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い教育学科開講科目と教育学科以外 の学部学科開講する科目を別開講とすることによる科目廃止。社 会科・公民科教育法Bを新設。
2 5	中等道徳教育論	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。道徳教育論を新設。
2 6	中等特別活動論	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。特別活動論を新設。
2 7	中等生徒・進路指導論	2	2前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。生徒・進路指導論を新設。
2 8	中等教育相談	2	2後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教育相談を新設。
2 9	教職実践演習(中・高)	2	4後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教職実践演習(幼・小・中・ 高)を新設。
3 0	教職実践演習(幼・小)	2	4後	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教職実践演習(幼・小・中・ 高)を新設。
3 1	教育心理学 I	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教育心理学を新設。
3 2	初等道徳教育論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。道徳教育論を新設。
3 3	初等教育相談	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。教育相談を新設。
3 4	初等生徒・進路指導論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。生徒・進路指導論を新設。
3 5	初等特別活動論	2	2・3前	専門	選択	教職課程認定基準の変更に伴い初等と中等の教職に関する科目を 共通開設したことによる科目廃止。特別活動論を新設。

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学共通科目の教養科目については、詳細付の科目であり、担当者によって変遷する。

また、地域イノベーションコースの見直しにより、一部は国際コミュニティ学部地域行政学科の科目として開設され、聴講が認められる予定。

専門科目については、隔年開講であり、次年度開講される予定。

学生への周知は、シラバスの配当表をホームページに掲載しているほか、ガイダンスにおいても履修に際しての注意事項として喚起している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 56 448
 =
 12.5
 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

#### 施設・設備の整備状況,経費 3

	区		分					Þ	4					:	容					備考
(1)		区	分			専	用		共	用			用する 校等の					計		
校		校台	含敷 均	t t			36, 8 34, 8	65 m²			0m²		12.17.17		0m²			34	. 865 m	『運動場用地に校舎を 『建築したことによ 『る。(29)
		運動	場用地	1			101, 9 103, 8			0 m² 0 m²				0m²				, 957m 3, 897m		
地		小	計	ŀ			138, 7	62m²						0m²	138, 762m		3, 762m	2		
等		そ	の他	1			200, 1	13 <b>m</b> i			0m²			(	0m²			200	), 113m	2
		合	計	f			338, 8	338, 875 <b>㎡</b>		0r	0m²				0m²			338	8, 875 <b>m</b>	Î
	各				専	用		共	用			用する 校等の					計			
(2) 校			( 65		70, 6, <del>70, 9,</del> 55, 955m	<del>30㎡</del> أ)			0m²		0m²		(	<del>70, 930㎡</del> ( 65, 955㎡)			が建築計画と登記上の 計誤差による。(29)			
				講	義		6, 180m	f)—   寅 習	室	0r 宝駐		( 室	情報な	0㎡ 処理学習		(		<del>66, 18</del> 学習:		大学全体
(3) 教 室 等 98室 97室		室					ェ 65室 <del>48室</del>			18室	E			7室	ステェル 校舎を建築したこと による。(29)					
						±c =л	 新設学部等の名称				(補助職員 一人)				(補助職員 一人) 数					
(4) 専	任教	員研究	室		新設字部等 <i>0</i> 。 ————————————————————————————————————						<u></u> 13		3	女X		室				
	新設学部室 -			図 書 学術雑誌 [うち外国書] 〔うち外国							視聴覚	<b>党資料</b>	機械	: 器:	■.	標	本			
(5)	47	の名		[う	ち外		- 	うち外国	国書〕 種	電子ジ 〔うち			100-100	点	122 122		点	lyk.	点	i
	874,652〔2 66,681〔 67,913〔 教育学科 (870,349〔2: (849,122〔2: (41,142〔-		880,849[235,914] 874,652[236,827] 66,681[18,431] 67,913[18,431]		<del>1)</del>	<del>5,663</del> 43	(2,554) (2,500) 30(237) 27(232)		918[1	3,167) 2,298) 9(885)		23,542 22,730 1,728 1,693						大学全体の数に修正 (29) 実績に基づき変更 (30)		
図書・			232,467 [11,358	, <del>467])</del> (5,663[2 , <del>358])</del> (276[			(13,227[13 (12,918[12 (572			(2	(23,372) (22,390) (1,087) (1,064)			)	(	)				
設備				874 6	(41,935[11,539]) 880,849[235,914] 874,652[236,827] 66,681[18,431] 67,913[18,431]			5,876[2,554 5,663[2,500 430[23] 427[23;		13,227[1 12,918[1 889			23,542 22,730 1,728 1,693						=	
		高十 (870,349[234,634] (849,122[232,467] (41,142[11,358] (41,935[11,539]		<del>))</del> <del>))</del>	(5,876[2,554]) (5,663[2,500]) (276[152]) (274[149])			(13,227[13,1500]) (12,918[12,250]) (572[8]		(2	23,372) 22,390) (1,087) (1,064)	(		)	(	)				
(a) E		+	}		面		積			閲覧	座席	ま 数		収	納	可	能	m	数	
(6) 図		書	館				1	1, 700m	2				952 <del>948</del>					1, 2	200, 000	大学全体 増席(29)
( <b>7</b> ) / <del>+</del>		夲	舒		面		積				体育	育館以外	<b>小のス</b> オ	ポーツが	施設の	概要				
(7) 体		育	館					8, 871 m	屋内プ	ール 1面	ī §	野球場	1面	陸上競	競技場	1面	アー	チェリ	一場 1面	ī
		<b>4</b> ₹ #	Z	ξ.	分		開設年	度	完成年度	<u> </u>	<u> </u>	分		前年度		没年度	_	完成	年度	届出学科全体
(8)		経費 の見 積り	教員 1	人当り	研究	費等		千円	676 <del>千</del>	円 図	書購え	入費	6, 1	54千円 <del>08千円</del>	8,	754千 <del>047千</del>	円	12, 3	372千円	図書費には電子 ジャーナル・データ ベース整備費(運用
経費の 積り及 維持方 の概	えび	ig 7	共 同	研 3	究費	等	0 1, 000	千円 <del>千円</del>	1,000 <del>T</del>	円 設	備購え	入費		24千円 <del>40千円</del>		999千 <del>340千</del>		16, 6	79千円	コスト含む)を含む
			人当り †金		1 年》 1, 250	欠 千円	第 2 : 1,	年次 030千円	+	3 年次 , 030千円	3	第4年1,03	○次 30千円	第	5 年 <i>》</i> 一	て 千円		第6年	が成一次。	開設年度事業終了に   伴う執行額確定のた
	F	学生	納付金	以外の	-					補助金、				収入	等	<u> </u>				め。 (29)

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

  - 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

    ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。

    ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。

    ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、
  - その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。 なお、昨年度の報告において赤字で見入消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少,建築計画の遅延)がある場合には,「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
  - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

# 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	広	島修道	大 学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均 入学定員 超過率	開 設年 度	所	在力	地		
	年	人	年次 人	人		倍						
商学部												
商学科	4	155	_	620	学士	1. 10	昭和35年度	広島市安 大塚東一	佐南区 -丁目1番	1号		
経営学科	4	140	_	560	学士	1. 13	昭和38年度	同上				
経済科学部					(42 17)							
現代経済学科	4	115	_	460	学士 (経済科学)	1. 12	平成9年度	同上				
経済情報学科	4	115	_	460	学士 (経済科学)	1. 11	平成9年度	同上				
人文学部					(422) 11 17							
人間関係学科	4	60	_	240	学士	1. 24	昭和48年度	同上				
心理学専攻	4	_	_	_	学士	_	昭和48年度	同上			平成29: 学生募:	
社会学専攻	4	60	_	240	学士	1. 24	昭和48年度	同上			十工券:	未停止
教育学専攻	4	_	_	_	学士	_	昭和48年度	同上			平成28 学生募:	
<u>教育学科</u>	4	100	_	400	学士	1.00	平成28年度	同上			十工券:	未停止
英語英文学科	4	110	_	440	学士	1. 17	昭和48年度	同上				
法学部					(2.17							
法律学科	4	195	_	780	学士	1. 10	昭和51年度	同上				
国際政治学科	4	_	_	_	学士	_	平成2年度	同上			平成30: 学生募:	
人間環境学部											7 4 37	* IT <b>**</b>
人間環境学科	4	115	_	460	学士 (人間環境学)	1. 12	平成14年度	同上				
健康科学部												
心理学科	4	80	_	320	学士 <sup>(心理学)</sup>	1. 05	平成29年度	同上				
健康栄養学科	4	80	_	320	学士 (栄養学)	1.03	平成29年度	同上				
国際コミュニティ学部												
国際政治学科	4	75	_	300	学士 (国際政治学)	1. 12	平成30年度	同上				
地域行政学科	4	75	_	300	学士 (地域行政学)	1. 10	平成30年度	同上				
商学研究科												
商学専攻												
博士前期課程	2	8	_	16	修士 (商学)	0. 18	昭和46年度	同上				
博士後期課程	3	2	_	6	博士	0.00	昭和48年度	同上				
経営学専攻												
博士前期課程	2	12	_	24	修士 <sup>(経営学)</sup>	0. 62	昭和52年度	同上				
博士後期課程	3	3	_	9	博士 (経営学)	0.00	昭和52年度	同上				
経済科学研究科												
現代経済システム専攻												
博士前期課程	2	8	_	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0. 12	平成13年度	同上				
博士後期課程	3	2	_	6	博士 (経済学)	0.00	平成15年度	同上				

経済情報専攻									
博士前期課程	2	8	_	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0. 12	平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	_	6	博士 (経済情報)	0.00	平成15年度	同上	
人文科学研究科					(*±2/4   FI +K/				
心理学専攻									
博士前期課程	2	14	_	28	修士	0. 60	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	2	_	6	博士	0. 50	昭和56年度	同上	
社会学専攻 修士課程	2	5	_	10		0. 10	昭和59年度	同上	
教育学専攻 修士課程	2	5	_	10	修士	0. 10	昭和59年度	同上	
英文学専攻					(341)				
博士前期課程	2	5	_	10	修士	0.40	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	3	_	9	博士	0. 11	昭和56年度	同上	
法学研究科					(~7)				
法律学専攻 修士課程	2	5	_	10	修士	1.00	昭和56年度	同上	
国際政治学専攻 修士課程	2	10	-	20	修士 (国際政治学)	0. 25	平成6年度	同上	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

「5教員組織の状況(1)担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

# 6 留意事項等に対する履行状況等

<人文学部 教育学科>

区 分	留意事項	等	履行状況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年6月)	鈴峯女子短期大学食物 業女子短期大学食物 栄養学科の定員充足 の平均が0.7倍未満と なっていることかると 学生確保に多の見の見 もにこいて検討すること。	留意事項	鈴峯女子短期大学食物栄養 学科について、平成28年学 生募集を停止することとし た。(28)	履行済	
設置計画履行状況調 査 時			該当なし		
設置計画履行状況調 査 時			該当なし		

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()</u><u>書き</u>で付記してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、<u>当該大学に付された意見を全て記入</u>するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では,履行途中であれば「未履行」,履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

# 7 その他全般的事項

# <人文学部 教育学科>

# (1) 設置計画変更事項等

設置時の	計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該 当 な	L	該 当 な し

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

## ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

広島修道大学FD・SD規定に基づき、全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学大学運営会議で審議する。各学部、研究科については、それぞれFD推進委員会を組織している。教育学科が所属する人文学部にも、人文学部FD推進委員会が設置されている。また、教育学科は、教育内容、教育方法等の改善を図るために、教育学科会議を開催し、必要に応じてFD活動を行っている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

#### 〈大学運営会議〉

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。平成30年度も4月16日の大学運営会議の議題「平成30年度研修計画について」で平成29年度の研修実施実績報告と平成30年度の研修計画が承認された。

### 〈人文学部FD推進委員会〉

年に2回以上開催。人文学部専任教員及び学部担当教務職員が参加する。

#### 〈教育学科会議〉

毎月定例で開催。教育学科担当教員すべてが参加する。

c 委員会の審議事項等

### 〈大学運営会議〉

- 1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
- 2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
- 3. その他FD及びSDの推進に関すること

## 〈人文学部FD推進委員会〉

- 1. カリキュラム・授業科目の構成について
- 2. 授業科目のシラバス・授業計画の内容について
- 3. 授業の方法について
- 4. 履修指導について
- 5. 厳正で客観的な成績評価方法について
- 6. 成績評価結果の告知方法について
- 7. 進級制度及び進級認定について
- 8. 最終試験及び卒業認定について
- 9. 授業アンケートについて
- 10. その他必要な事項について

# ② 実施状況

### a 実施内容

全学では、教員の資質向上のために、大学改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目指したFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目指した組織的な公開授業等を行っている。人文学部では、カリキュラム、成績評価、授業の方法等について研修会を行っている。また、教育学科では、定例会議とは別に、年に一度、教育学科の研究会を開催し、外部から講師を招聘して、その折々の学科の抱える課題を解決する一助にしている。

# b 実施方法

すべての教員が参加しやすいように、定例教授会の前後に開催するようにしている。例えば、FD・SD研修会は定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行う。人文学部FD推進委員会や教育学科会議も定例教授会の終了後に連続して開催している。また、FD・SD研修会では、大学を構成する各部局がその取り組みを共有できるように報告者を工夫したり、人文学部では研修テーマについて各学科、専攻が事前に各取り組みを整理するなどして、それぞれの研修の目的を達成できるように努力している。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

〈全 学〉

·FD·SD研修会

年3~4回開催。平成30年度は、現時点で、第1回「私立大学等経常費補助金について(仮題)」(6月13日)、第2回「修大 カフォーラム (予定) 」(8月3日)、第3回「テーマは調整中」 (10月10日) の開催が決定している。平成29年度は以下の 诵りであった。

第1回「第二期認証評価からの7年間を振りかえって」

(6月14日開催 参加者数:教員134名、職員74名)

第2回「修道カフォーラムー点検・評価にみる広島修道大学」

(8月4日開催 参加者数:教員142名、職員125名)

第3回「ICTを活用した授業実践報告」「FD推進ワークショップ参加報告」

(11月22日開催 参加者数: 教員130名、職員77名)

・教育カアップセミナー(新任教員対象)

平成29年度

「広島修道大学の教育課題―学びの道を整える大学として―」

「学び方の個性を知る―違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢―」 「違いから学ぼう―広島修道大学の抱える教育課題の解決に向けて―」

(8月25日開催 参加者数:教員9名、職員11名)

教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。平成30年度は5月22日から6月20日までを公開 授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成29年度は、100名の教員が167クラスで公開授業を実施し、延べ 144名の教員が参加をして授業研究を行った。

## 〈人文学部〉

平成29年度のFD推進委員会のテーマは以下の通りであった。

「転部・転科・転専攻の選考方法について」(7月12日開催 参加者数:37名) 第1回

「第3期認証評価について」(10月11日開催 参加者数:33名)

#### 〈教育学科〉

平成30年度のFD研修会の予定は、「データから見た教育学科の現状と教育的課題」として、例年、実施している1年 生、2年生、3年生、4年生の時系列的SA成績データと卒業生の小学校採用試験合格とSA成績データとのクロス分析結果の 比較及び教育学科1年生、2年生のGPAの動向を見据えて、今後の学生指導の在り方を検討することとしている。

また、教育学科完成年度以降のカリキュラム改革についてのFD研修も展開していく。研究会講師については現在選定 中である。

平成29年度の教育学科研究会(11月20日)では、平成30年度着任予定の1名の教員を講師として、「教育の主体として の地域コミュニティづくりー被差別部落における地域保護者組織の役割に着目して一」についての研修を行った。参加 者は15名であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFDでは、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観 者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。人文学部FDでは、研修結果を各学科、専攻の会 議にフィードバックするよう努めている。また、教育学科のFDは、まさに日々の教育に直結する内容ばかりであり、各 教員が自らの教育指導に反映させている。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回(前期・後期)定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成29年度は通年で 369名の教員が実施し(専任教員の実施率は99.5%)、一人あたりの平均実施科目数は3.25科目であった。

b 教員や学生への公開状況,方法等

授業アンケートの結果は、本人のみならず学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価 に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

- ・科目分類別の授業アンケート集計表
- ・実施集計表 (学部単位の実施者数および率)
- (注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

## (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学科は、端的に言えば、6-3-3-4制の多様化や柔軟化、幼児教育の質の向上、特別支援教育の充実などの今日の社会的要請に応え、・社会の幅広い教育的ニーズに対応できる教育者の育成、・個性的・自律的な教育者の養成、・他者や多様な環境に配慮できるコミュニケーション能力を備えた教育者の育成、・生涯にわたって研究と修養に励むことのできる教育力を備えた教育者の養成を目的としている。特に、意味のある2種類の資格及び免許状の取得を奨励し、2年次からは、初等教育コース、学校教育コース、教育科学コースに分かれる。教育学科のこれらの設置趣旨・目的や2年次からのコース内容については、教学センターガイダンス、教職課程ガイダンス、教育学科教員ガイダンス、教育学基礎科目等で折に触れて、しっかりと学生に認識させ、履修指導を行ってきた。この結果、16年度生(一期生)は初等教育コース33名、学校教育コース39名、教育科学コース26名で、17年度生(二期生)は初等教育コース40名、学校教育コース34名、教育科学コース28名となり、バランスのとれたコース制を維持している。また、16年度生(一期生)の資格・免許希望者は、保育士26名、幼稚園39名、小学校49名、中学校55名、高校27名、特別支援教育学校16名であったた

また、16年度生(一期生)97名の成績はSA平均2.64、17年度生(2期生)102名の成績はSA平均2.53であり、ともに学科の教育目標に沿った教育に向けて良好な滑り出しができていると考えている。さらに、18年度入試でも、定員100名に対して全入試制度で1,263名が志願し、103名が入学した。この結果からも、引き続き、教育学科の設置趣旨、教育目的等を十分理解し、興味を持った学生が入学してきたと確信している。これからも、教育学科の設置趣旨・目的を達成するために編成されたカリキュラムを確実に履行しながら、教育上も研究上も関係教員が絶えず協働していきたい。

### ② 自己点検·評価報告書

- a 公表 (予定) 時期
  - •平成30年8月1日 公表
- b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、「その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする」とし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』(1993年~)、『広島修道大学白書』(1999年度~)、『広島修道大学の現況』(2009年度~)として刊行し、社会に公開している。また、Webサイトでも同様の情報公表を行っている。

# ③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度に大学基準協会の第三者認証評価を受け、適合と判定されている。本年平成30年 度に大学基準協会の第三者評価を受けることとしている。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## (4) 情報公表に関する事項

$\overline{}$		-
<i>(</i> )	設置計画履行状況報告書	=

a ホームページに公表の有無

有 . 無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 2018年7月1日

- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
  - ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。